

講義コード	U821000101	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)1		
副題	ゆつくりと、よく分かるドイツ語の授業		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	中出 正郎		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 3時限 西1-104		

授業概要

「ドイツ語検定4級」に合格できるくらいの基礎的な文法力を身につけることを目標にしています。「現在人称変化」から「関係代名詞」までの文法項目を学び、その大まかな全体像が分かるようにして行きます。
また、テキストに従ってドイツ事情にも触れ、巨大な経済圏の一つであるEUを牽引するドイツについての知識が深まるようにしたいと思います。

到達目標

「ドイツ語検定4級」に合格できるくらいの、基礎的な文法力を身につけることができます。
また、英語以外の外国語を学ぶことを通して、より広い視野・知識を習得することもできます。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション(授業内容や進め方などについて話をする)
第2回	発音の練習(アルファベット+母音)
第3回	発音の練習(子音+数字)
第4回	主語に合わせて動詞を変化させる練習
第5回	sein(=be)とhaben(=have)の用法について
第6回	名詞と不定冠詞・定冠詞について
第7回	疑問文と3人称の代名詞について
第8回	2格(所有格)と3格(間接目的格)について
第9回	名詞と代名詞の語順について
第10回	5つのタイプの複数形について
第11回	不定冠詞のグループ・定冠詞のグループについて
第12回	変音動詞(＝一部の人称で不規則に変化する動詞)について
第13回	命令文を作る練習
第14回	否定文を作る練習
第15回	第1学期のまとめ
第16回	2格・3格・4格を取る前置詞について
第17回	3格・4格を取る、9個の前置詞と特定の動詞と結びつく前置詞(＝熟語)について
第18回	文中で2つに分かれる動詞(＝分離動詞)について
第19回	再帰代名詞の3つの用法について(特に再帰動詞について)
第20回	助動詞・未来形について
第21回	2つの文を(主)と(従)の関係で結びつける接続詞(＝従属接続詞)について
第22回	過去形と過去分詞を作る練習
第23回	2つのタイプの現在完了形を作る練習
第24回	2つのタイプの過去完了形を作る練習
第25回	名詞の前につく形容詞(＝付加語用法の形容詞)の変化について
第26回	形容詞・副詞の比較級と最上級の用法について
第27回	先行詞をとる関係代名詞(＝定関係代名詞)について
第28回	先行詞を取らない関係代名詞(＝不定関係代名詞)について
第29回	接続法(＝仮定法)についての説明
第30回	第2学期のまとめ

授業計画コメント

各課の終了時に(チェック)の箇所のミニテストを行います。必要に応じ補充の練習問題を行うこともあります。

授業方法

演習形式

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

外国語の学習では予習と復習が不可欠です。復習に30分、予習に1時間以上の時間が必要です。予習内容についてはその都度、授業時に指示します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	25 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):15%・第1学期(学期末試験):30%・第2学期(学年末試験):30%・小テスト:25%。平常点、ミニテスト、学期末試験の3つを総合的に評価します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

小テストや学期末試験の答えは返却し、授業内で解説を行います。

教科書

レッツ・トライ12課プラス2,新妻孝一・中出正郎,同学社,2008,9784810208641

教科書コメント

『レッツ・トライ12課プラス2』はとても分かりやすい、文法の教科書です。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

特別の理由なく、各学期で5回以上欠席した場合は、まとめの試験は受けられないので、注意して下さい。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000102	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)2		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	狩野 智洋		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 2時限 中央－502		

授業概要

ドイツ語の基礎となる文法を学習する。

到達目標

全ての言語活動の基本となる文法を身につけ、平易な文章を読んだり、簡単な作文が出来るようになる。また、正しく発音することが出来るようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、アルファベート
第2回	つづりと発音
第3回	「第1課 動詞の現在人称変化(1)」(1)
第4回	「第1課 動詞の現在人称変化(1)」(2)、「第2課 名詞と冠詞の格変化」(1)
第5回	「第2課 名詞と冠詞の格変化」(2)
第6回	「第3課 名詞の複数形・人称代名詞」(1)
第7回	「第3課 名詞の複数形・人称代名詞」(2)、「第4課 動詞の現在人称変化(2)・命令法」(1)
第8回	「第4課 動詞の現在人称変化(2)・命令法」(2)
第9回	「第5課 定冠詞類・不定冠詞類」(1)
第10回	「第5課 定冠詞類・不定冠詞類」(2)、「第6課 前置詞」(1)
第11回	「第6課 前置詞」(2)
第12回	「第7課 話法の助動詞・未来形・非人称動詞」(1)
第13回	「第7課 話法の助動詞・未来形・非人称動詞」(2)
第14回	理解度の確認
第15回	自主研究
第16回	「第8課 分離動詞と非分離動詞・接続詞」(1)
第17回	「第8課 分離動詞と非分離動詞・接続詞」(2)
第18回	「第9課 動詞の3基本形・過去人称変化」(1)
第19回	「第9課 動詞の3基本形・過去人称変化」(2)、「第10課 現在完了・再帰表現」(1)
第20回	「第10課 現在完了・再帰表現」(2)
第21回	「第11課 形容詞の格変化」(1)
第22回	「第11課 形容詞の格変化」(2)、
第23回	「第12課 形容詞と副詞の比較変化・zu不定詞」(1)
第24回	「第12課 形容詞と副詞の比較変化・zu不定詞」(2)
第25回	「第13課 関係代名詞・指示代名詞」(1)
第26回	「第13課 関係代名詞・指示代名詞」(2)
第27回	「第14課 受動態」(1)
第28回	「第14課 受動態」(2)
第29回	理解度の確認
第30回	自主研究

授業計画コメント

15課の接続法は2年次で学習することになっているので、1年次では扱わない。

授業方法

文法事項の説明の後、練習問題を解いて基礎固めをする。随時質問を受け付けるので、理解できない点がある場合は、積極的に質問すること。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

今回の授業で扱う箇所を予習し、また、宿題を必ずやること。(1～2時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

答案を返却し、注意点を指摘する。

教科書

身につくドイツ文法<Leicht>2,前田良三／高木葉子,郁文堂,初,2020,9784261012729

参考文献

クラウン 独和辞典,三省堂

フロイデ 独和辞典,白水社

新アポロン 独和辞典,同学社

アクセス 独和辞典,三修社

プログレッシブ 独和辞典,小学館

参考文献コメント

上記は初級から中級向けの辞書であるが、中・上級向けの辞書として『独和辞典』(郁文堂)、『独和大辞典』(小学館)がある。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

1年間という限られた時間内で文法事項を一通り終えなければならないので、そのための受講者の協力(宿題は必ずやってくることは欠かせないが、理解できない点があれば遠慮せず、積極的に質問して欲しい)。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000103	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)3		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	内堀 淳志		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 2時限 西1－302		

授業概要

ドイツ語を運用する際、必要となる文法事項の解説、確認。

到達目標

ドイツ語の文法の基礎を理解し、それを習得することにより、ドイツ語を運用できるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、ドイツ語の文字と発音(1)
第2回	ドイツ語の文字と発音(2)
第3回	人称代名詞と動詞の現在人称変化(1)
第4回	人称代名詞と動詞の現在人称変化(2)
第5回	名詞の性と格(1)
第6回	名詞の性と格(2)、複数形
第7回	定冠詞類
第8回	不定冠詞類
第9回	否定冠詞
第10回	人称代名詞の格変化
第11回	非人称の es
第12回	不規則動詞
第13回	命令形
第14回	前置詞(1)
第15回	まとめ
第16回	前置詞(2)
第17回	分離動詞(1)
第18回	分離動詞(2)、非分離動詞
第19回	接続詞
第20回	話法の助動詞、未来形(1)
第21回	話法の助動詞、未来形(2)
第22回	動詞の3基本形、過去(1)
第23回	動詞の3基本形、過去(2)
第24回	現在完了形
第25回	受動文
第26回	形容詞の用法
第27回	比較表現
第28回	再帰代名詞
第29回	zu 不定詞
第30回	まとめ

授業方法

講義ならびに演習

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

事前に教科書の該当箇所を読み、練習問題の解答を考えておく、さらに不明点があれば上げておくこと(約1時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
------	---------	----

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	25 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点では、課題提出および課題によって確認される理解度がポイントとなる。小テストは進度に応じて実施する。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

提出された課題、学期末試験の答えは解説を加えて返却する。

教科書

プロムナード やさしいドイツ語文法[改訂版],萩原耕平 山崎泰孝,白水社,2019,9784560064245

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

独和辞典が必要となる。 初学者向けとしては以下の辞書が提示され得る。
『クラウン独和辞典』三省堂、『アポロン独和辞典』同学社、『アクセス独和辞典』三修社

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000104	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)4		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	加藤 耕義		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 4時限 西1－102		

授業概要

初めてドイツ語を学ぶ人のための、ドイツ語文法の授業です。1年間でひと通りの基礎文法を勉強します。ドイツ語は英語と比べれば、文法上の例外が少ない言葉です。基礎をしっかりと身につけると、自分でドイツ語が自由に読めるようになります。「ドイツ語文法」と言うと堅く聞こえますが、「ドイツ語を読むコツ」と考えて、楽しく身につけましょう。教科書は「アー・ツェット楽しく学ぶドイツ語 (Deutsch A-Z)」です。文法練習に加え、日常で使える表現を覚えていきます。

到達目標

ドイツ語文法について理解し、短いセンテンスを覚えながら、ドイツ語の基礎力を身につけます。

授業内容

実施回	内容
第1回	履修者の決定。ドイツ語の発音を勉強します。
第2回	第1課 動詞の現在人称変化(1)規則動詞
第3回	第1課 sein, haben の現在人称変化、語順
第4回	第2課 名詞の性、関し、名詞の格変化
第5回	第2課 疑問代名詞wer, wasの格変化、並列の接続詞
第6回	第3課 動詞の現在人称変化(2) 不規則動詞、 命令文
第7回	第3課 人称代名詞の3格と4格
第8回	第4課 名詞の複数形、冠詞類
第9回	第4課 keinとnichtの使い方, 否定疑問文の答え方
第10回	第5課 前置詞の格支配
第11回	第5課 前置詞と定冠詞の融合形
第12回	第6課 話法の助動詞の現在人称変化、未来形
第13回	第6課 従属の接続詞と副文
第14回	理解度の確認
第15回	自主研究
第16回	第7課 形容詞・副詞の比較変化
第17回	第7課 形容詞・副詞の比較変化
第18回	第8課 分離動詞と非分離動詞、 動詞の3基本形、 過去形
第19回	第8課 分離動詞と非分離動詞、 動詞の3基本形、 過去形
第20回	第9課 現在完了形、縦続接続詞
第21回	第9課 現在完了形、縦続接続詞
第22回	第10課 再帰代名詞、再帰動詞、分詞
第23回	第10課 再帰代名詞、再帰動詞、分詞
第24回	関係代名詞
第25回	関係代名詞
第26回	関係代名詞
第27回	受動態
第28回	受動態
第29回	理解度の確認
第30回	自主研究

授業方法

授業は、まず基本的な説明を行い、練習問題を解きます。ペア練習も多く行いますので、授業時にはペアになって座ってください。毎回宿題をだしますので、家で考えて、たくさんの「？」を持って授業に来てください。「？」が解決したとき、よく頭に入ります。ほぼ毎回、小テストをします。しっかり復習をして理解し、覚えましょう。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎日15分程度、その週に習った文章を繰り返し暗記してください。基礎文章を長期記憶に定着させ、小テストに臨んでください。その他に、和訳、練習問題などの宿題を出しますので、準備をしてきてください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	22 %	
学年末試験(第2学期)	23 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	45 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

全授業回数の3分の1以上欠席した場合には成績評価をしません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験後にフィードバックします。

教科書

アー・ツェット楽しく学ぶドイツ語(Deutsch A-Z),小野寿美子／中川明博,朝日出版社,2018,784255254203

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000105	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)5		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	松島 渉		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 土曜日 1時限 西1－209		

授業概要

初めてドイツ語を学ぶ人のための授業です。ドイツ語文法の基礎を一通り学びます。

到達目標

ドイツ語の基礎文法を学び、活用できるようにする。

授業内容

実施回	内容
第1回	履修者の決定。授業の進行についてのガイダンス。ドイツ語の文字や発音についての説明。
第2回	動詞の現在人称変化(1)・定動詞の位置
第3回	名詞の性・複数形・格
第4回	動詞の現在人称変化(2)
第5回	前置詞の格支配(1)
第6回	定冠詞類の格変化
第7回	前置詞の格支配(2)
第8回	不定冠詞類の格変化
第9回	分離動詞・非分離動詞
第10回	人称代名詞・命令形
第11回	話法の助動詞
第12回	未来形
第13回	再帰代名詞・再帰動詞
第14回	理解度の確認
第15回	予備日
第16回	前期学習事項の復習
第17回	副文
第18回	形容詞の格変化
第19回	zu不定詞・zu不定詞句
第20回	形容詞の名詞化
第21回	動詞の3基本形と過去形
第22回	動詞の3基本形と過去形
第23回	完了形
第24回	完了形
第25回	比較
第26回	関係代名詞
第27回	受動文
第28回	既習事項の復習
第29回	理解度の確認
第30回	予備日

授業計画コメント

第1学期は1～8課、第2学期は9課～15課を学ぶ予定です。履修者の理解度によって進度は変わります。

授業方法

授業では新出文法事項の説明を行います。教科書にはその文法事項を用いた練習問題があり授業中に答え合わせ・解説を行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回、授業内で指定された練習問題を解いてきてもらいます。これが復習になります。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

教科書で学んだ内容が小テスト・試験で出題されます。
授業内で指名されて宿題をやっていなかった場合などに平常点が減点されます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

模範解答を配布します。質問には個別に応じます。

教科書

ドイツ語文法の基礎[改訂版],成田節 / 櫻井麻美,同学社,2018,978-4-8102-0891-7

参考文献

アクセス独和辞典,在間進,三修社,第3版,2010,978-4-384-01234-7

クラウン独和辞典,濱川祥枝、信岡資生、新田春夫,三省堂,第5版,2014,978-4-385-12011-9

参考文献コメント

外国語学習に辞書は必須です。特に指定はしませんが必ず辞書は買って下さい。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000106	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)6		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	橋本 嘉那子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 2時限 西1－202		

授業概要

文法は、ドイツ語を理解し、運用するための基本となるものです。ドイツ語の文法は難しいと思われがちですが、基本をよく整理すれば、決して難しいものではなく、論理的で、学習しやすいものです。この授業では重要な項目ごとに小テストを行います。各項目をひとつひとつ理解し、反復して勉強することで、今後の学習に必要な文法知識をしっかりと身につけてほしいと思います。

到達目標

一年間で接続法を除く一通りの文法を学びます。 それによって様々な文章を読んだり話したりするための基礎を作ります。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、発音
第2回	動詞の現在人称変化1
第3回	動詞の現在人称変化2
第4回	名詞の性・冠詞の格変化1
第5回	名詞の性・冠詞の格変化2
第6回	名詞の性・冠詞の格変化3
第7回	不規則変化動詞1
第8回	不規則変化動詞2
第9回	定冠詞類、不定冠詞類1
第10回	定冠詞類、不定冠詞類2
第11回	複数形、人称代名詞1
第12回	複数形、人称代名詞2
第13回	前置詞1
第14回	前置詞2
第15回	理解度の確認
第16回	前期の復習
第17回	形容詞の格変化
第18回	助動詞1
第19回	助動詞2
第20回	分離動詞、接続詞1
第21回	分離動詞、接続詞、
第22回	再帰代名詞
第23回	動詞の三基本形、過去形
第24回	現在完了1
第25回	受動態現在完了2
第26回	受動態1
第27回	受動態2
第28回	関係代名詞1
第29回	関係代名詞2
第30回	理解度の確認

授業方法

文法を説明した後、受講者に練習問題を解いてもらいます。毎回授業の始めに前回の復習、宿題の答え合わせを行います。また、基本的な文法事項については、その都度小テストを行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

習っていない箇所を予習する必要はありませんが、復習や宿題は必要です(約1時間)。 特に授業中に出される課題は、必ずやってくるようにしてください。

成績評価の方法・基準

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点は授業態度を重視しますので、受講生は必ず課題を行い、授業に積極的に参加してください。平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):20% 第1学期(学期末試験):25% 第2学期(学年末試験):40% 小テスト:15%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

小テスト、学期末試験(第一学期)は授業内で返却し、解説を行います。

教科書

パノラマ 初級ドイツ語ゼミナール,上野成利,白水社,978-4-560-06420-7

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000107	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)7		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	川口 眞理		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 3時限 西1－310		

授業概要

ドイツ語Cが聴解練習や会話練習が中心であるのに対し、ドイツ語Bでは言語としての仕組み＝初級文法の理解と定着を目指し、今後のすべてのドイツ語学習に応用できる基礎力を養います。

到達目標

初級ドイツ語文法を体系的に理解し、900語程度の語彙力を習得し、自力で簡単なテキストを読み、平易な文をドイツ語で発信する力(ドイツ語検定4～3級レベル)を身に付けることができます。

授業内容

実施回	内容
第1回	辞書について アルファベート
第2回	文字と発音－母音と子音
第3回	動詞の現在人称変化 語順
第4回	seinとhaben
第5回	名詞の性・定冠詞
第6回	不定冠詞
第7回	複数形・否定冠詞
第8回	不規則動詞
第9回	命令形・定冠詞類
第10回	不定冠詞類
第11回	人称代名詞
第12回	前置詞 2・3・4格支配
第13回	前置詞 3・4格支配
第14回	理解度の確認
第15回	振り返り
第16回	分離動詞 非分離動詞
第17回	再帰動詞
第18回	形容詞(比較表現)
第19回	形容詞(付加語的用法)・話法の助動詞
第20回	話法の助動詞・未来形
第21回	zu不定詞句
第22回	理解の確認－1
第23回	従属の接続詞
第24回	動詞の三基本形・過去形
第25回	現在完了形
第26回	受動態(動作受動)
第27回	受動態(状態受動)・定関係代名詞
第28回	定・不定関係代名詞
第29回	理解の確認－2
第30回	振り返り

授業方法

新たな文法事項を例文とともに理解し、基礎練習(穴埋めや書き換え)→応用練習(作文)の順で理解を確実なものとしていきます。授業で終わらなかった練習や別冊の復習問題などが宿題となり、次回授業で確認します。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習は原則必要ありませんが、宿題・復習は丁寧にやってください(1～2時間)。ノートを作り、板書を整理し、テキストの例文や宿題は全文を書き写して声に出して読み、語彙は適宜整理して覚えていきましょう。目、耳、手、口を全部使って身に付けていく姿勢が大

切です。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	25 %	
中間テスト	25 %	第2学期のみ
レポート	15 %	随時でる課題の提出
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

試験は年3回(第1学期期末・第2学期中間・第2学期期末)です。試験を受けるには、それまでの授業の3分の2以上の出席が必要です。遅刻は3回で欠席1回となります。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

第1学期期末・第2学期中間試験は返却されます。各課の復習プリントは返却の上、解説します。

教科書

プロムナード やさしいドイツ語文法 改訂版,荻原耕平・山崎泰孝,白水社,改訂,2019,9784560064245

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000108	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)8		
副題	言葉のメカニズムを理解する		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	阿部 雄一		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 3時限 西1－307		

授業概要

1年間かけて(といっても実質6ヶ月程度)、ドイツ語文法の見取り図をしっかりと頭に入れることを目標にする。だが、単に文法ルールをヤミクモに暗記するだけでなく、どうしてそれぞれの文法や語法が出来上がったのか、理屈にも目を向けたい。そうすることによって、英語や母国語も含めて言葉一般に対する理解力も深められればと思う。受講者の皆さんはいま現在、ドイツ語圏(ドイツ・オーストリア・スイスなど)に特に関心を持っているわけではないかもしれない。しかし、この講座を受講したらドイツ語をもっと深く理解したくなった、ドイツ語圏のことをもっと知りたくなった、と思ってもらえるよう講師は努力するつもりである。

到達目標

言葉の勉強が(ますます)好きになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	本講座の方針。ドイツとドイツ語について。アルファベート。
第2回	ドイツ語の発音の概説。
第3回	発音の復習。動詞の現在人称変化。最も基本的なドイツ語文の作り方。
第4回	名詞・人称代名詞・冠詞の格変化。
第5回	格の用法。
第6回	基本文型。名詞の複数形。
第7回	定冠詞類と不定冠詞類。
第8回	中間テスト。
第9回	形容詞の格変化。
第10回	前置詞の基礎。
第11回	前置詞のさまざまな用法。
第12回	不定句と文。動詞の3基本形。
第13回	動詞の過去形。不規則変化動詞の現在人称変化。動詞の命令形。
第14回	まとめ。
第15回	予備日。
第16回	話法の助動詞。
第17回	未来の助動詞。複合動詞:分離動詞と非分離動詞。
第18回	現在完了形の基礎と用法。
第19回	現在分詞形と過去分詞形の形容詞的用法。
第20回	第16回から第19回までの復習。
第21回	非人称代名詞としてのesの用法。zu不定句。
第22回	再帰動詞。
第23回	受動文。
第24回	中間テスト。
第25回	複合文。並列接続詞と従属接続詞。
第26回	形容詞・副詞の比較の用法。
第27回	指示代名詞と定関係代名詞。
第28回	不定関係代名詞と関係副詞。
第29回	まとめ。
第30回	予備日。

授業計画コメント

ベーシックの授業は時間が不足しがちだが、言葉の勉強だけでなく、ドイツ語の歌を聴いたり歌ったりもしたい。

授業方法

説明の時間をなるべく少なくして受講者になるべくたくさん口を開いてもらい手を動かしてもらおう。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

出された宿題を必ずする。テキストの次回の部分をざっと読んでおく。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	70 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	5 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	5 %	宿題、暗唱などの勤勉度
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

通年科目は長丁場なので興味を持続するのが難しい人もいるだろう。しかし、外国語力は生ものであるし、内容もあとになればなるほど複雑化するので、学年末試験の結果が何よりも評価に影響する。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1学期の学期末テストの答案を2学期の最初の授業時に返却し振り返る。成績不振者には同じ問題で再試験する。動詞の3基本形の小テストも同様。

教科書

初等ドイツ語文法——ことばの仕組みを考える——,阿部雄一・山下善明,同学社,初,2013,9784810208771

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000109	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)9		
副題	言葉のメカニズムを理解する		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	阿部 雄一		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 2時限 西1－307		

授業概要

1年間かけて(といっても実質6ヶ月程度)、ドイツ語文法の見取り図をしっかりと頭に入れることを目標にする。だが、単に文法ルールをヤミクモに暗記するだけでなく、どうしてそれぞれの文法や語法が出来上がったのか、理屈にも目を向けたい。そうすることによって、英語や母国語も含めて言葉一般に対する理解力も深められればと思う。受講者の皆さんはいま現在、ドイツ語圏(ドイツ・オーストリア・スイスなど)に特に関心を持っているわけではないかもしれない。しかし、この講座を受講したらドイツ語をもっと深く理解したくなった、ドイツ語圏のことをもっと知りたくなった、と思ってもらえるよう講師は努力するつもりである。

到達目標

言葉の勉強が(ますます)好きになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	本講座の方針。ドイツとドイツ語について。アルファベート。
第2回	ドイツ語の発音の概説。
第3回	発音の復習。動詞の現在人称変化。最も基本的なドイツ語文の作り方。
第4回	名詞・人称代名詞・冠詞の格変化。
第5回	格の用法。
第6回	基本文型。名詞の複数形。
第7回	定冠詞類と不定冠詞類。
第8回	中間テスト。
第9回	形容詞の格変化。
第10回	前置詞の基礎。
第11回	前置詞のさまざまな用法。
第12回	不定句と文。動詞の3基本形。
第13回	動詞の過去形。不規則変化動詞の現在人称変化。動詞の命令形。
第14回	まとめ。
第15回	予備日。
第16回	話法の助動詞。
第17回	未来の助動詞。複合動詞:分離動詞と非分離動詞。
第18回	現在完了形の基礎と用法。
第19回	現在分詞形と過去分詞形の形容詞的用法。
第20回	第16回から第19回までの復習。
第21回	非人称代名詞としてのesの用法。zu不定句。
第22回	再帰動詞。
第23回	受動文。
第24回	中間テスト。
第25回	複合文。並列接続詞と従属接続詞。
第26回	形容詞・副詞の比較の用法。
第27回	指示代名詞と定関係代名詞。
第28回	不定関係代名詞と関係副詞。
第29回	まとめ。
第30回	予備日。

授業計画コメント

ベーシックの授業は時間が不足しがちだが、言葉の勉強だけでなく、ドイツ語の歌を聴いたり歌ったりもしたい。

授業方法

説明の時間をなるべく少なくして受講者になるべくたくさん口を開いてもらい手を動かしてもらおう。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

出された宿題を必ずする。テキストの次回の部分をざっと読んでおく。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	70 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	5 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	5 %	宿題、暗唱などの勤勉度
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

通年科目は長丁場なので興味を持ち続けるのが難しい人もいるだろう。しかし、外国語力は生ものであるし、内容もあとになればなるほど複雑化するので、学年末試験の結果が何よりも評価に影響する。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1学期の学期末テストの答案を2学期の最初の授業時に返却し振り返る。成績不振者には同じ問題で再試験する。動詞の3基本形の小テストも同様。

教科書

初等ドイツ語文法——ことばの仕組みを考える——,阿部雄一・山下善明,同学社,初,2013,9784810208771

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000110	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)10		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	飯田 道子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 2時限 西1－102		

授業概要

初めてドイツ語を学ぶ人のための、ドイツ語文法の授業です。1年間でひと通りの基礎文法を勉強します。文法説明とその文法事項を含む会話文、練習問題がバランスよく配置されたテキストを用いて、学んだ文法を授業内で実践できるようにしていきます。また、ドイツについてのさまざまな情報も取り入れていきたいと思います。

到達目標

ドイツ語文法について理解し、同時に意味内容のあるセンテンスを読み、書き、聴く力をバランス良く伸ばすことを目標とします。

授業内容

実施回	内容
第1回	履修者の決定 イン트로ダクション
第2回	第1課 動詞の現在人称変化
第3回	第2課 名詞の性/冠詞
第4回	第3課 名詞の複数形 定冠詞類／不定冠詞類
第5回	第3課 否定文
第6回	第4課 動詞の現在人称変化(2) 不規則動詞 命令文
第7回	第4課 動詞の現在人称変化(2) 不規則動詞 命令文
第8回	第5課 人称代名詞(2) 前置詞 並列接続詞
第9回	第5課 人称代名詞(2) 前置詞 並列接続詞
第10回	第6課 話法の助動詞 未来の助動詞
第11回	第6課 話法の助動詞 未来の助動詞
第12回	第7課 形容詞の格変化
第13回	第7課 形容詞の格変化
第14回	理解度の確認
第15回	ふりかえり
第16回	第8課 形容詞・副詞の比較変化
第17回	第8課 形容詞・副詞の比較変化
第18回	第9課 分離動詞と非分離動詞、動詞の3基本形、過去形
第19回	第9課 分離動詞と非分離動詞、動詞の3基本形、過去形
第20回	第10課 現在完了形、縦続接続詞
第21回	第10課 現在完了形、縦続接続詞
第22回	第11課 再帰代名詞、再帰動詞、分詞
第23回	第11課 再帰代名詞、再帰動詞、分詞
第24回	第12課 定関係代名詞、指示代名詞
第25回	第12課 定関係代名詞、指示代名詞
第26回	第12課 定関係代名詞、指示代名詞
第27回	第13課 受動態
第28回	第13課 受動態
第29回	理解度の確認
第30回	ふりかえり

授業方法

まず基本的な説明を行い、練習問題を解きます。ペア練習も多く行います。必要に応じて試験を行い、理解度の確認をしていきます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

その週に習った基本事項の復習をするようにしてください。和訳、練習問題などの宿題が出された場合は、きちんと学習してきてください。

成績評価の方法・基準

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業への積極的な参加度を重視します。授業開始30分以降の入室は、特別な場合を除き、出席とみとめません。全授業回数の3分の1以上欠席した場合には成績評価をしません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業内にできるかぎりフィードバックします。

教科書

プレーミエ ドイツ語総合読本,神竹道士 他,白水社,2018,9784560064191

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000111	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)11		
副題	ドイツ語初級文法		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	小林 和貴子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 3時限 西1－309		

授業概要

ドイツ語圏文化学科1年次を対象としたクラスです。ドイツ語の基本的な発音の仕方から始め、文の作り方を学びます。

到達目標

ドイツ語を4年間学習していくにあたって、この授業を通じて初級レベルの文法的知識を習得し、基本的なドイツ語の文章であれば独力で読み・書き・話し・聞き取ることができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	イントロダクション(授業の進め方、一般的注意、辞書や参考書について)
第2回	ドイツ語の全体像
第3回	単純な文を作ってみよう
第4回	一般動詞の現在人称変化
第5回	人称代名詞、2格と3格
第6回	名詞の複数形:1格と4格
第7回	定冠詞と似たもの
第8回	不定冠詞と似たもの
第9回	前置詞 (1)
第10回	前置詞 (2)
第11回	形容詞の使い方 (1)
第12回	形容詞の使い方 (2)
第13回	形容詞の名詞化・命令法
第14回	接続詞
第15回	中間まとめと復習
第16回	現在時制と過去時制
第17回	現在完了形
第18回	ドイツ語の時制の全体像
第19回	分離動詞と非分離動詞
第20回	助動詞とその仲間
第21回	ドイツ語の語順の種類(まとめ)
第22回	分詞
第23回	zu不定詞
第24回	形容詞と副詞の比較表現
第25回	再帰代名詞と再帰動詞
第26回	指示代名詞、関係代名詞
第27回	受動態
第28回	間接話法と非現実話法の概論
第29回	総復習
第30回	理解度の確認

授業計画コメント

分からないことがあったら、後回しにせず、いつでも質問してください。

授業方法

- (a) 新しい文法事項の概略を説明します(例文の発音練習を含む)。
- (b) 練習問題をグループで相談しながら解きます。
- (c) グループの中の一人が代表して練習問題の解答を発表します。
- (d) 解答を確認して、発音練習をします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業前にあらかじめ教科書のこれから学ぶ章に目を通し、何を学ぶのかを理解しておくこと(約30分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	(出席、授業への積極的関与)
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

最終的には、1学期と2学期の試験結果と平常点の総合評価で成績を決めます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テストは、採点後に返却し、どこが間違ったのかを確認し理解できるように授業中に解説します。

教科書

ドイツ語文法へのプロローグ,岡本順治,郁文堂,1,2004,9784261011975

参考文献コメント

第1回授業で、辞書と参考書を紹介します。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

授業中に分からないことは積極的に質問しましょう。
意識して大きい声ではっきりと発音し、ドイツ語らしいイントネーションやリズムを身につけましょう。
間違えることを恐れずにチャレンジしましょう。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000112	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)12		
副題	ドイツ語初級文法		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	岡本 順治		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 3時限 西1-208		

授業概要

ドイツ語圏文化学科1年次を対象としたクラスです。ドイツ語の基本的な発音の仕方から始め、文の作り方を学びます。

到達目標

ドイツ語を4年間学習していくにあたって、この授業を通じて初級レベルの文法的知識を習得し、基本的なドイツ語の文章であれば独力で読み・書き・話し・聞き取ることができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	イントロダクション(授業の進め方、一般的注意、辞書や参考書について)
第2回	ドイツ語の全体像
第3回	単純な文を作ってみよう
第4回	一般動詞の現在人称変化
第5回	人称代名詞、2格と3格
第6回	名詞の複数形:1格と4格
第7回	定冠詞と似たもの
第8回	不定冠詞と似たもの
第9回	前置詞(1)
第10回	前置詞(2)
第11回	形容詞の使い方(1)
第12回	形容詞の使い方(2)
第13回	形容詞の名詞化・命令法
第14回	接続詞
第15回	中間まとめと復習
第16回	現在時制と過去時制
第17回	現在完了形
第18回	ドイツ語の時制の全体像
第19回	分離動詞と非分離動詞
第20回	助動詞とその仲間
第21回	ドイツ語の語順の種類(まとめ)
第22回	分詞
第23回	zu不定詞
第24回	形容詞と副詞の比較表現
第25回	再帰代名詞と再帰動詞
第26回	指示代名詞、関係代名詞
第27回	受動態
第28回	間接話法と非現実話法の概論
第29回	総復習
第30回	理解度の確認

授業計画コメント

分からないことがあったら、後回しにせず、いつでも質問してください。

授業方法

- 新しい文法事項の概略を説明します(例文の発音練習を含む)。
- 練習問題をグループで相談しながら解きます。
- グループの中の一人が代表して練習問題の解答を発表します。
- 解答を確認して、発音練習をします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業前にあらかじめ教科書のこれから学ぶ章に目を通し、何を学ぶのかを理解しておくこと(約30分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト	80 %	年間6回から8回の小テスト
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	(出席、授業への積極的関与)
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

最終的には、1学期と2学期の試験結果と平常点の総合評価で成績を決めます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テストは、採点後に返却し、どこが間違ったのかを確認し理解できるように授業中に解説します。

教科書

ドイツ語文法へのプロローグ,岡本順治,郁文堂,1,2004,9784261011975

参考文献コメント

第1回授業で、辞書と参考書を紹介します。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

授業中に分からないことは積極的に質問しましょう。
意識して大きい声ではっきりと発音し、ドイツ語らしいイントネーションやリズムを身につけましょう。
間違えることを恐れずにチャレンジしましょう。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000113	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)13		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	木村 裕一		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 西1－104		

授業概要

この授業ではドイツ語を初めて学ぶ人を対象に、1年間を通して基礎文法を勉強していきます。語学にはどうしても反復練習が必要になってきます。ですから、なるべく多くの練習問題を解いていく予定ですが、ドイツに関する情報や私自身のドイツでの体験談なども適宜交えながら、できるだけ無理なく楽しく授業していきたいと思います。

到達目標

- ・ 名詞の性や格、動詞の人称変化、構文の仕組みなど、ドイツ語文法における基礎的な知識を身につけること
- ・ ドイツ語辞書を適切に活用できるようになること

授業内容

実施回	内容
第1回	ドイツ語のアルファベットと発音
第2回	動詞の現在人称変化
第3回	seinとhaben
第4回	定動詞の位置
第5回	名詞と定冠詞
第6回	名詞の複数形
第7回	不定冠詞と所有冠詞
第8回	否定冠詞とnicht
第9回	数詞
第10回	ドイツ語の不規則動詞
第11回	命令形
第12回	分離動詞
第13回	前期の復習
第14回	理解度の確認
第15回	予備日
第16回	1学期の復習
第17回	前置詞(1): 特定の格と結びつく前置詞
第18回	前置詞(2): 3・4格支配の前置詞
第19回	動詞の3基本形
第20回	完了形
第21回	形容詞(1): 形容詞の格変化と冠詞の関係
第22回	形容詞(2): 序数
第23回	比較表現
第24回	接続詞
第25回	再帰動詞
第26回	zu不定詞
第27回	関係代名詞
第28回	2学期の復習
第29回	理解度の確認
第30回	予備日

授業方法

グループワークを中心として進めていきます。
受動的に解説を聞くのではなく、練習問題を出来る限り解きながら、各自の理解度を確認していきます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習: やる予定のレッスンの説明を読み、自分なりに説明できるよう準備してくること。(30分)

復習：授業内容を振り返り、不明なところがないか確認すること。あれば、それをきちんとした質問の形で次回以降にアウトプットできるようにしておくこと。(30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

各期末試験では、並べ替え問題や空欄補充問題、簡単な独作文などにより、理解度を確認します。
授業回数の1/3以上欠席した学生は、原則として履修意思がないものとみなします。
なお10分以上の遅刻は、原則として3回で1回分の欠席とみなします。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

グループワーク中心の授業なので、適宜コメントや指導を行います。

教科書

改訂版・ドイツ文法ガイドA-Z,保阪良子,同学社,改訂,2010,9784810208689

参考文献コメント

ドイツ語辞書は必ず購入・持参すること。
辞書の選び方については、開講時に説明します。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000114	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)14		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	石崎 朝子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 西1－202		

授業概要

ドイツ語の文法を丁寧に学習し練習問題をこなすことで文法の基礎をしっかりと身につけます。第2学期はドイツ語の構造や特性を十分に理解することを目指します。

到達目標

ドイツ語の文法・文構造の基礎を一通り学び理解することにより、辞書を用いれば比較的平易なドイツ語の文章を読解・作文できるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、アルファベット、発音
第2回	Lektion 1 動詞の現在人称変化(I)
第3回	Lektion 1 動詞の現在人称変化(I)
第4回	Lektion 2 動詞の現在人称変化(II)
第5回	Lektion 2 並列の接続詞
第6回	Lektion 3 定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化
第7回	Lektion 3 定冠詞・不定冠詞・否定冠詞の変化
第8回	Lektion 4 名詞の複数形
第9回	Lektion 4 人称代名詞
第10回	Lektion 5 不定冠詞類
第11回	Lektion 5 定冠詞類
第12回	Lektion 6 動詞の現在人称変化(III)
第13回	Lektion 6 命令形
第14回	理解度の確認
第15回	予備日
第16回	Lektion 7 話法の助動詞
第17回	Lektion 7 未来形
第18回	Lektion 8 前置詞
第19回	Lektion 8 再帰代名詞・再帰動詞
第20回	Lektion 9 分離動詞・非分離動詞
第21回	Lektion 9 zu不定詞句・従属の接続詞
第22回	Lektion 10 動詞の3基本形(I)・過去形
第23回	Lektion 10 現在完了形
第24回	Lektion 11 3基本形(II)
第25回	Lektion 11 受動態
第26回	Lektion 12 形容詞の変化
第27回	Lektion 12 比較
第28回	Lektion 12 関係代名詞
第29回	理解度の確認
第30回	予備日

授業方法

文法を簡潔に説明したのち各自練習問題に取り組んでもらいます。受講者の理解度を確認しながら進めます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業内容についての理解度をみずから確認し、特に1学期は覚えることが多いので、指示された箇所をこまめに暗記し、宿題に取り組む(60分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):15% 定期試験以外に・小テスト・提出課題・授業に臨む姿勢(予習、練習問題への取り組み姿勢など)なども評価の対象とします。なお全授業回数の1/3以上欠席した場合は「不合格」です。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題・小テストは次回までにチェックをして返却します。学期末試験は返却し解説を行います。

教科書

ゲナウ！ グラマティック ノイ,新倉真矢子他,第三書房,初,2018,9784808610494

参考文献コメント

(初回の授業で指示する)独和辞典は必ず持参してください。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000115	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)15		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	小林 和貴子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 西1－309		

授業概要

ドイツ語の発音、文法、文章構造の基礎を学びます。同時にドイツの社会や日常生活について情報を得ることによって、ドイツ語への理解を深めます。

到達目標

- ・ドイツ語文法の基礎をマスターする。
- ・基本的なドイツ語を読み、書き、聞き、話すことができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	文字と発音
第2回	第1課 発音、動詞の現在人称変化
第3回	第2課 名詞の性と格変化(1格、4格)
第4回	第2課 不規則動詞werden
第5回	第3課 不規則動詞の現在人称変化
第6回	第3課 名詞の複数形
第7回	テスト1 (第1課～第3課)
第8回	第4課 前置詞と名詞の格
第9回	第4課 副文
第10回	第5課 人称代名詞の3格、4格
第11回	第5課 再帰代名詞と再帰動詞
第12回	第6課 定冠詞類
第13回	第6課 不定冠詞類
第14回	テスト2 (第4課～第6課)
第15回	到達度確認
第16回	第7課 zu 不定詞区
第17回	第7課 分離動詞、非分離動詞
第18回	第8課 話法の助動詞
第19回	第8課 未来形
第20回	第9課 動詞の三基本形
第21回	第9課 過去形、現在完了形、受動態
第22回	テスト3 (第7課～第9課)
第23回	第10課 形容詞の用法、格変化
第24回	第10課 比較級と最上級
第25回	第11課 関係代名詞
第26回	第11課 命令形
第27回	第12課 接続法とは
第28回	第12課 接続法の用法
第29回	テスト4 (第10課～第12課)
第30回	到達度確認

授業方法

基本的にはグループワークの形式で授業を行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

次回に扱う問題を宿題にします(30～60分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	
学年末試験(第2学期)	20 %	
中間テスト	40 %	2回行います。
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

- ・1年間で、4回のテストをします。それぞれ20％で評価します。
- ・毎回、出席して、積極的に授業に参加することを求めます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テストの返却時にコメントします。

教科書

ドイツ語の時間―読解編―〈読めると楽しい!〉:ドイツ語の時間,清野智昭、須藤温子、曾田素子,朝日出版社,初,2011

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000116	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)16		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	加藤 耕義		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 西1－108		

授業概要

初めてドイツ語を学ぶ人のための、ドイツ語文法の授業です。1年間でひと通りの基礎文法を勉強します。ドイツ語は英語と比べれば、文法上の例外が少ない言葉です。基礎をしっかりと身につけると、自分でドイツ語が自由に読めるようになります。「ドイツ語文法」と言うとき堅く聞こえますが、「ドイツ語を読むコツ」と考えて、楽しく身につけましょう。教科書は「アー・ツェット楽しく学ぶドイツ語 (Deutsch A-Z)」です。文法練習に加え、日常で使える表現を覚えていきます。

到達目標

ドイツ語文法について理解し、短いセンテンスを覚えながら、ドイツ語の基礎力を身につけます。

授業内容

実施回	内容
第1回	履修者の決定。ドイツ語の発音を勉強します。
第2回	第1課 動詞の現在人称変化(1)規則動詞
第3回	第1課 sein, haben の現在人称変化、語順
第4回	第2課 名詞の性、関し、名詞の格変化
第5回	第2課 疑問代名詞wer, wasの格変化、並列の接続詞
第6回	第3課 動詞の現在人称変化(2) 不規則動詞、 命令文
第7回	第3課 人称代名詞の3格と4格
第8回	第4課 名詞の複数形、冠詞類
第9回	第4課 keinとnichtの使い方, 否定疑問文の答え方
第10回	第5課 前置詞の格支配
第11回	第5課 前置詞と定冠詞の融合形
第12回	第6課 話法の助動詞の現在人称変化、未来形
第13回	第6課 従属の接続詞と副文
第14回	理解度の確認
第15回	自主研究
第16回	第7課 形容詞・副詞の比較変化
第17回	第7課 形容詞・副詞の比較変化
第18回	第8課 分離動詞と非分離動詞、 動詞の3基本形、 過去形
第19回	第8課 分離動詞と非分離動詞、 動詞の3基本形、 過去形
第20回	第9課 現在完了形、縦続接続詞
第21回	第9課 現在完了形、縦続接続詞
第22回	第10課 再帰代名詞、再帰動詞、分詞
第23回	第10課 再帰代名詞、再帰動詞、分詞
第24回	関係代名詞
第25回	関係代名詞
第26回	関係代名詞
第27回	受動態
第28回	受動態
第29回	理解度の確認
第30回	自主研究

授業方法

授業は、まず基本的な説明を行い、練習問題を解きます。ペア練習も多く行いますので、授業時にはペアになって座ってください。毎回宿題をだしますので、家で考えて、たくさんの「？」を持って授業に来てください。「？」が解決したとき、よく頭に入ります。ほぼ毎回、小テストをします。しっかり復習をして理解し、覚えましょう。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎日15分程度、その週に習った文章を繰り返し暗記してください。基礎文章を長期記憶に定着させ、小テストに臨んでください。その他に、和訳、練習問題などの宿題を出しますので、準備をしてきてください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	22 %	
学年末試験(第2学期)	23 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	45 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

全授業回数の3分の1以上欠席した場合には成績評価をしません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験後にフィードバックします。

教科書

アー・ツェット楽しく学ぶドイツ語(Deutsch A-Z),小野寿美子／中川明博,朝日出版社,2018,784255254203

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000117	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)17		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	狩野 智洋		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 中央－501		

授業概要

ドイツ語の基礎となる文法を学習する。

到達目標

全ての言語活動の基本となる文法を身につけ、平易な文章を読んだり、簡単な作文が出来るようになる。また、正しく発音することが出来るようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、アルファベート
第2回	つづりと発音
第3回	「第1課 動詞の現在人称変化(1)」(1)
第4回	「第1課 動詞の現在人称変化(1)」(2)、「第2課 名詞と冠詞の格変化」(1)
第5回	「第2課 名詞と冠詞の格変化」(2)
第6回	「第3課 名詞の複数形・人称代名詞」(1)
第7回	「第3課 名詞の複数形・人称代名詞」(2)、「第4課 動詞の現在人称変化(2)・命令法」(1)
第8回	「第4課 動詞の現在人称変化(2)・命令法」(2)
第9回	「第5課 定冠詞類・不定冠詞類」(1)
第10回	「第5課 定冠詞類・不定冠詞類」(2)、「第6課 前置詞」(1)
第11回	「第6課 前置詞」(2)
第12回	「第7課 話法の助動詞・未来形・非人称動詞」(1)
第13回	「第7課 話法の助動詞・未来形・非人称動詞」(2)
第14回	理解度の確認
第15回	自主研究
第16回	「第8課 分離動詞と非分離動詞・接続詞」(1)
第17回	「第8課 分離動詞と非分離動詞・接続詞」(2)
第18回	「第9課 動詞の3基本形・過去人称変化」(1)
第19回	「第9課 動詞の3基本形・過去人称変化」(2)、「第10課 現在完了・再帰表現」(1)
第20回	「第10課 現在完了・再帰表現」(2)
第21回	「第11課 形容詞の格変化」(1)
第22回	「第11課 形容詞の格変化」(2)
第23回	「第12課 形容詞と副詞の比較変化・zu不定詞」(1)
第24回	「第12課 形容詞と副詞の比較変化・zu不定詞」(2)
第25回	「第13課 関係代名詞・指示代名詞」(1)
第26回	「第13課 関係代名詞・指示代名詞」(2)
第27回	「第14課 受動態」(1)
第28回	「第14課 受動態」(2)
第29回	理解度の確認
第30回	自主研究

授業計画コメント

15課の接続法は2年次で学習することになっているので、1年次では扱わない。

授業方法

文法事項の説明の後、練習問題を解いて基礎固めをする。随時質問を受け付けるので、理解できない点がある場合は、積極的に質問すること。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

今回の授業で扱う箇所を予習し、また、宿題を必ずやること。(1～2時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

答案を返却し、注意点を指摘する。

教科書

身につくドイツ文法<Leicht>2,前田良三／高木葉子,郁文堂,初,2020,9784261012729

参考文献

- クラウン 独和辞典,三省堂
- フロイデ 独和辞典,白水社
- 新アポロン 独和辞典,同学社
- アクセス 独和辞典,三修社
- プログレッシブ 独和辞典,小学館

参考文献コメント

上記は初級から中級向けの辞書であるが、中・上級向けの辞書として『独和辞典』(郁文堂)、『独和大辞典』(小学館)がある。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

1年間という限られた時間内で文法事項を一通り終えなければならないので、そのための受講者の協力(宿題は必ずやってくることは欠かせないが、理解できない点があれば遠慮せず、積極的に質問して欲しい)。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000118	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)18		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	橋本 嘉那子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 1時限 西1－202		

授業概要

文法は、ドイツ語を理解し、運用するための基本となるものです。ドイツ語の文法は難しいと思われがちですが、基本をよく整理すれば、決して難しいものではなく、論理的で、学習しやすいものです。この授業では重要な項目ごとに小テストを行います。各項目をひとつひとつ理解し、反復して勉強することで、今後の学習に必要な文法知識をしっかりと身につけてほしいと思います。

到達目標

一年間で接続法を除く一通りの文法を学びます。 それによって様々な文章を読んだり話したりするための基礎を作ります。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、発音
第2回	動詞の現在人称変化1
第3回	動詞の現在人称変化2
第4回	名詞の性・数・格1
第5回	名詞の性・数・格2
第6回	名詞の性・数・格3
第7回	定冠詞類、不定冠詞類1
第8回	定冠詞類、不定冠詞類2
第9回	人称代名詞
第10回	不規則動詞の現在人称変化1
第11回	不規則動詞の現在人称変化2
第12回	前置詞1
第13回	前置詞2
第14回	従属接続詞など
第15回	理解度の確認
第16回	前期の復習
第17回	助動詞1
第18回	助動詞2
第19回	分離動詞
第20回	〃
第21回	動詞の3基本形、過去形
第22回	現在完了形1
第23回	現在完了形2
第24回	形容詞
第25回	受動態1
第26回	受動態2
第27回	関係代名詞1
第28回	関係代名詞2
第29回	関係代名詞3
第30回	理解度の確認

授業方法

文法を説明した後、受講者に練習問題を解いてもらいます。毎回授業の始めに前回の復習、宿題の答え合わせを行います。また、基本的な文法事項については、その都度小テストを行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

習っていない箇所を予習する必要はありませんが、復習や宿題は必要です(約1時間)。 特に授業中に出される課題は、必ずやってくるようにしてください。

成績評価の方法・基準

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点は授業態度を重視しますので、受講生は必ず課題を行い、授業に積極的に参加してください。平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):20% 第1学期(学期末試験):25% 第2学期(学年末試験):40% 小テスト:15%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

小テスト、学期末試験(第一学期)は授業内で返却し、解説を行います。

教科書

プロムナード やさしいドイツ語文法(改定版),荻原耕平,白水社,9784560064245

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000119	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)19		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	飯田 道子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 1時限 西1－102		

授業概要

初めてドイツ語を学ぶ人のための、ドイツ語文法の授業です。1年間でひと通りの基礎文法を勉強します。文法説明とその文法事項を含む会話文、練習問題がバランスよく配置されたテキストを用いて、学んだ文法を授業内で実践できるようにしていきます。また、ドイツについてのさまざまな情報も取り入れていきたいと思います。

到達目標

ドイツ語文法について理解し、同時に意味内容のあるセンテンスを読み、書き、聴く力をバランス良く伸ばすことを目標とします。

授業内容

実施回	内容
第1回	履修者の決定 イン트로ダクション
第2回	第1課 動詞の現在人称変化
第3回	第2課 名詞の性/冠詞
第4回	第3課 名詞の複数形 定冠詞類／不定冠詞類
第5回	第3課 否定文
第6回	第4課 動詞の現在人称変化(2) 不規則動詞 命令文
第7回	第4課 動詞の現在人称変化(2) 不規則動詞 命令文
第8回	第5課 人称代名詞(2) 前置詞 並列接続詞
第9回	第5課 人称代名詞(2) 前置詞 並列接続詞
第10回	第6課 話法の助動詞 未来の助動詞
第11回	第6課 話法の助動詞 未来の助動詞
第12回	第7課 形容詞の格変化
第13回	第7課 形容詞の格変化
第14回	理解度の確認
第15回	ふりかえり
第16回	第8課 形容詞・副詞の比較変化
第17回	第8課 形容詞・副詞の比較変化
第18回	第9課 分離動詞と非分離動詞、動詞の3基本形、過去形
第19回	第9課 分離動詞と非分離動詞、動詞の3基本形、過去形
第20回	第10課 現在完了形、縦続接続詞
第21回	第10課 現在完了形、縦続接続詞
第22回	第11課 再帰代名詞、再帰動詞、分詞
第23回	第11課 再帰代名詞、再帰動詞、分詞
第24回	第12課 定関係代名詞、指示代名詞
第25回	第12課 定関係代名詞、指示代名詞
第26回	第12課 定関係代名詞、指示代名詞
第27回	第13課 受動態
第28回	第13課 受動態
第29回	理解度の確認
第30回	ふりかえり

授業方法

まず基本的な説明を行い、練習問題を解きます。ペア練習も多く行います。必要に応じて試験を行い、理解度の確認をしていきます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

その週に習った基本事項の復習をするようにしてください。和訳、練習問題などの宿題が出された場合は、きちんと学習してきてください。

成績評価の方法・基準

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業への積極的な参加度を重視します。授業開始30分以降の入室は、特別な場合を除き、出席とみとめません。全授業回数の3分の1以上欠席した場合には成績評価をしません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業内にできるかぎりフィードバックします。

教科書

プレーミエ ドイツ語総合読本,神竹道士 他,白水社,2018,9784560064191

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000120	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)20		
副題	ドイツ語の仕組みを学ぶ		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	高瀬 誠		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 2時限 西1－109		

授業概要

ドイツ語の文法システムに関する基礎知識を学び、ドイツ語による情報の受信・発信の能力の基本を養う事を目的とする。

到達目標

ドイツ語の文法構造について理解し、ドイツ語を利用するための基礎を身につける。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション、Alphabet と発音、挨拶の言葉
第2回	つづりと発音 --- 母音の発音、ドイツ語特有の文字と発音 ---品詞分類 他
第3回	つづりと発音 --- 子音の発音 ---Lektion 1 人称代名詞と動詞の現在人称変化 (導入)
第4回	Lektion 1 動詞の現在人称変化 (1) 文の作り方 --- 平叙文と疑問文 ---
第5回	Lektion 1 動詞の現在人称変化 (1)[続] 文の作り方 --- 疑問詞と疑問文 ---
第6回	Lektion 2 動詞の現在人称変化 (2) 名詞の文法上の性と人称代名詞
第7回	Lektion 2 動詞の現在人称変化 (2)[続]名詞の文法上の性と人称代名詞、定冠詞と不定冠詞
第8回	Lektion 2 数詞、名詞と冠詞類の格変化
第9回	Lektion 3 冠詞類と人称代名詞
第10回	Lektion 3 男性弱変化名詞、名詞の複数形、人称代名詞の格変化
第11回	Lektion 4 前置詞概説、名詞の格と前置詞の結び付き、3 格と共に用いられる前置詞、4 格と共に用いられる前置詞
第12回	Lektion 4 3 格及び 4 格と共に用いられる前置詞、2 格と共に用いられる前置詞
第13回	Lektion 4 前置詞と定冠詞語尾との融合形 他
第14回	第1学期のまとめと補足
第15回	第1学期の学習項目の理解度確認
第16回	第1学期期末試験 --- 解答と解説 ---
第17回	Lektion 5 命令法と命令文
第18回	Lektion 5 動詞の人称変化 --- 命令法 他 ---、文の作り方 --- 主文と従属文 ---
第19回	Lektion 5 補足 (wissen と kennen)Lektion 6 話法の助動詞とそれを用いた文の作り方
第20回	Lektion 6 知覚・使役表現、再帰表現、非人称表現
第21回	Lektion 7 形容詞の使い方、比較表現
第22回	Lektion 7 日付、形容詞の名詞的用法
第23回	Lektion 8 前つづりの付いた動詞
第24回	Lektion 8 補足とまとめ (前つづり 3 種)Lektion 9 完了形について
第25回	Lektion 9 完了形について(補足)、過去形について、動詞の人称変化形
第26回	Lektion 9 動詞の人称変化形について(まとめ)Lektion 10 zu 不定詞句
第27回	Lektion 11 指示代名詞と関係代名詞
第28回	Lektion 12 受動態と受動表現
第29回	まとめと補足
第30回	学習理解度の確認

授業方法

講義

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業では課題を出す予定だが、その課題は毎回はきちんと行うこと。疑問点・不明点は教科書などをチェックし、解消しておくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	45 %	
学年末試験(第2学期)	45 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)		
その他(備考欄を参照)	10 %	提出課題

成績評価コメント

提出課題:10% 第1学期(学期末試験):45% 第2学期(学年末試験):45%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題は回収後チェック・修正して返却
 テストは返却後授業で解説

教科書

CD で学ぶドイツ語入門 改訂版,三瓶 慎一,白水社,2006

参考文献コメント

授業時に適宜指示する。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

不明点・疑問点などがあれば、質問してください。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821000121	科目ナンバリング	002D121
講義名	ドイツ語B(初級)21		
英文科目名	German (Elementary Course; Basic)		
担当者名	内堀 淳志		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 1時限 西1－302		

授業概要

ドイツ語を運用する際、必要となる文法事項の解説、確認。

到達目標

ドイツ語の文法の基礎を理解し、それを習得することにより、ドイツ語を運用できるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、ドイツ語の文字と発音(1)
第2回	ドイツ語の文字と発音(2)
第3回	人称代名詞と動詞の現在人称変化(1)
第4回	人称代名詞と動詞の現在人称変化(2)
第5回	名詞の性と格(1)
第6回	名詞の性と格(2)、複数形
第7回	定冠詞類
第8回	不定冠詞類
第9回	否定冠詞
第10回	人称代名詞の格変化
第11回	非人称の es
第12回	不規則動詞
第13回	命令形
第14回	前置詞(1)
第15回	まとめ
第16回	前置詞(2)
第17回	分離動詞(1)
第18回	分離動詞(2)、非分離動詞
第19回	接続詞
第20回	話法の助動詞、未来形(1)
第21回	話法の助動詞、未来形(2)
第22回	動詞の3基本形、過去(1)
第23回	動詞の3基本形、過去(2)
第24回	現在完了形
第25回	受動文
第26回	形容詞の用法
第27回	比較表現
第28回	再帰代名詞
第29回	zu 不定詞
第30回	まとめ

授業方法

講義ならびに演習

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

事前に教科書の該当箇所を読み、練習問題の解答を考えておくこと、さらに不明点を上げておくこと(約1時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
------	---------	----

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	25 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点では、課題提出および課題によって確認される理解度がポイントとなる。小テストは進度に応じて実施する。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

提出された課題、学期末試験の答えは解説を加えて返却する。

教科書

プロムナード やさしいドイツ語文法[改訂版],萩原耕平 山崎泰孝,白水社,2019,9784560064245

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

独和辞典が必要となる。 初学者向けとしては以下の辞書が提示され得る。
『クラウン独和辞典』三省堂、『アポロン独和辞典』同学社、『アクセス独和辞典』三修社

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001101	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)1		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	平井 敏雄		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 4時限 西1－210		

授業概要

ドイツ語初級文法習得者を対象に、初めの数回はプリントを用い、初級の授業では扱わなかった文法項目を学習し、同時に既習内容の復習をします。その後は、こま切れの例文ではない、ある程度まとまった内容と長さをもつテキストを、辞書を頼りに読み解く練習をしていきます。教科書は物騒なタイトルがついていますが、短編ミステリー集になっています。ドイツのテレビドラマでも見る気分で読んでいきましょう。

到達目標

- ・初級の授業で扱わなかった内容も含め、ドイツ語文法の基礎を習得する。
- ・習得した文法の知識と辞書を利用して、ある程度まとまった内容をもつドイツ語のテキストを自力で読み解く力を身につける。

授業内容

実施回	内容
第1回	初級文法の復習
第2回	受動態・受動的表現
第3回	受動態 練習
第4回	関係文
第5回	関係文 練習
第6回	接続法
第7回	接続法 練習
第8回	講読 第1篇
第9回	講読 第1篇 続き
第10回	講読 第2篇
第11回	講読 第2篇 続き
第12回	講読 第3篇
第13回	講読 第3篇 続き
第14回	まとめ
第15回	到達度の確認
第16回	講読 第4篇
第17回	講読 第4篇 続き
第18回	講読 第5篇
第19回	講読 第5篇 続き
第20回	講読 第6篇
第21回	講読 第6篇 続き
第22回	講読 第7篇
第23回	講読 第7篇 続き
第24回	講読 第8篇
第25回	講読 第8篇 続き
第26回	講読 第9篇
第27回	講読 第9篇 続き
第28回	講読 第10篇
第29回	まとめ
第30回	到達度の確認

授業方法

受講者が課題に対し解答し、それに解説を加える形で進めます。

準備学習(予習・復習)

毎回、プリント及び教科書の指定箇所の予習が必要です。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
------	---------	----

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業中に説明します。

教科書

殺人10件,真鍋良一,三修社,1990,978-4-384-15224-1 C1084

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001102	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)2		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	加藤 耕義		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 3時限 西1－202		

授業概要

初級文法を終えた学生を対象とし、ドイツ語読解力の向上を目的とします。文法練習なども、バランスよく加えながら、ドイツ語中級の読解力を養います。教科書には「新・ドイツ語読みかた教室」を用います、たくさん発音練習もしながらドイツ語の読解力をつけていきましょう。

到達目標

ドイツ語の初級文法全般にわたる知識を前提に、辞書を使って正確にドイツ語の様々な文章を読むことができる。辞書を使わないでも大意が取れるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	LEKTION 1 トイレでノックはするな Klopfen—wozu? ～がある/いる:es gibt＋4格とes ist～との違い
第2回	LEKTION 1 トイレでノックはするな Klopfen—wozu? ～がある/いる:es gibt＋4格とes ist～との違い
第3回	LEKTION 2 ドイツ人と音—音楽かならずしも楽音ならず Deutsche und Geräusche 接続法の表現・前つづりの意味
第4回	LEKTION 2 ドイツ人と音—音楽かならずしも楽音ならず Deutsche und Geräusche 接続法の表現・前つづりの意味
第5回	LEKTION 3 ドイツ人はケチ? Sind Deutsche geizig? 造語法・序数と分数・形容詞の名詞化
第6回	LEKTION 3 ドイツ人はケチ? Sind Deutsche geizig? 造語法・序数と分数・形容詞の名詞化
第7回	中間試験
第8回	LEKTION 4 ドイツ人のジョーク Deutscher Witz wissenとkennen・過去分詞の形容詞的用法・冠詞句
第9回	LEKTION 4 ドイツ人のジョーク Deutscher Witz wissenとkennen・過去分詞の形容詞的用法・冠詞句
第10回	LEKTION 5 割り勘 Jeder bezahlt für sich 接頭辞と接尾辞・比較・従属接続詞
第11回	LEKTION 5 割り勘 Jeder bezahlt für sich 接頭辞と接尾辞・比較・従属接続詞
第12回	LEKTION 6 ドイツ人とサンドイッチ Essen die Deutschen Sandwiches? 動詞の不定形・名詞文体・未来受動分詞の用法
第13回	LEKTION 6 ドイツ人とサンドイッチ Essen die Deutschen Sandwiches? 動詞の不定形・名詞文体・未来受動分詞の用法
第14回	理解度の確認
第15回	自主研究
第16回	LEKTION 7 ドイツ人の時間感覚 Zeitgefühl der Deutschen wasの用法・訳しにくい動詞と名詞
第17回	LEKTION 7 ドイツ人の時間感覚 Zeitgefühl der Deutschen wasの用法・訳しにくい動詞と名詞
第18回	LEKTION 8 保守と革新 Konservativ oder Progressiv 文の構造・接続法と直説法・形容詞の名詞化
第19回	LEKTION 8 保守と革新 Konservativ oder Progressiv 文の構造・接続法と直説法・形容詞の名詞化
第20回	LEKTION 9 客はどこに座らせる? Wo sitzt der Gast? 機能動詞
第21回	LEKTION 9 客はどこに座らせる? Wo sitzt der Gast? 機能動詞
第22回	中間試験
第23回	LEKTION 10 遅れてきたとき、どのように着席するのか? Wie kommt man zu seinem Platz, wenn man zu spät kommt? 動詞(現在分詞)の名詞化・指示代名詞

第24回	LEKTION 10 遅れてきたとき, どのように着席するか? Wie kommt man zu seinem Platz, wenn man zu spät kommt? 動詞(現在分詞)の名詞化・指示代名詞
第25回	LEKTION 11 使いやすい表現と使いにくい表現 Leicht benutzbare Ausdrücke und schwer benutzbare Ausdrücke 定関係代名詞・話法の助動詞・従属接続詞obwohl
第26回	LEKTION 11 使いやすい表現と使いにくい表現 Leicht benutzbare Ausdrücke und schwer benutzbare Ausdrücke 定関係代名詞・話法の助動詞・従属接続詞obwohl
第27回	LEKTION 12 働いてばかりはいられない Man kann nicht immer arbeiten 過去分詞の副詞的用法
第28回	LEKTION 12 働いてばかりはいられない Man kann nicht immer arbeiten 過去分詞の副詞的用法
第29回	理解度の確認
第30回	自主研究

授業方法

毎回予習をもとに輪読し、疑問点を隣の人と相談する。その上で教員が解説を加える。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎日15分、その週にならった文章を音読してください。和訳、宿題を毎回出しますので、準備してきてください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	22 %	
学年末試験(第2学期)	22 %	
中間テスト	44 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	12 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業の3分の1以上欠席した場合は、評価しません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験後にフィードバックします。

教科書

新・ドイツ語読みかた教室, 大谷弘道, 参集者, 2010, 978-4-384-13088-1 C1084

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001103	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)3		
副題	『エリザベート』と19世紀ウィーン		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	橋本 嘉那子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 3時限 西1－202		

授業概要

ドイツ語初級を学習した学生を対象としたクラスです。文法を復習しながら、まとまった文章を正確に読む力、ドイツ語の文章を書く力を養います。
『エリザベート』は、ハプスブルク帝国が崩壊しつつある時に皇帝妃となったエリザベートの半生を描いたウィーンミュージカルの代表作です。歌詞は会話体が多く、耳で聞いてすぐ解るように比較「簡単なドイツ語」で書かれています。授業では『エリザベート』の歌詞だけでなく、その背景となった19世紀のウィーン(建築、カフェ、食事、音楽、歴史等)やハプスブルク家に関する文章、同じ作家、作曲家によって作られた『モーツァルト』も取り上げる予定です。
初級で学習した文法(分離動詞、助動詞、関係代名詞、受動態等)の復習にも時間をかけますので、中級で新しく学ぶ文法(接続法等)と合わせてドイツ語読解の基礎をしっかりと身につけてほしいと思います。

到達目標

文法の基礎を固め、まとまったドイツ語の文章を読む力をつけること。様々な文化や思想が生まれた19世紀ウィーンに関する知識を深めること。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、DVD(エリザベートの生涯、ミュージカル『エリザベート』第1幕)鑑賞
第2回	テキスト読解、文法の練習、DVD(『エリザベート』第1幕)鑑賞
第3回	テキスト読解、文法の練習
第4回	〃
第5回	〃
第6回	〃
第7回	〃
第8回	〃
第9回	〃
第10回	〃
第11回	〃
第12回	〃
第13回	〃
第14回	理解度の確認
第15回	到達度確認
第16回	ガイダンス、前期の復習、DVD(『エリザベート』第2幕)鑑賞
第17回	テキスト読解、文法の練習、DVD(『エリザベート』第2幕)鑑賞
第18回	テキスト読解、文法の練習
第19回	〃
第20回	〃
第21回	〃
第22回	〃
第23回	〃
第24回	〃
第25回	〃
第26回	〃
第27回	〃
第28回	〃
第29回	理解度の確認
第30回	到達度確認

授業計画コメント

『エリザベート』を見たことのない受講生にも全体の流れが理解しやすいように、前期は初めの2回で第一幕を、後期は第二幕をDVD（ドイツ語、日本語訳付き）で鑑賞します。

前期は『エリザベート』第一幕の歌詞を読んではじめますが、文法の学習の進度に合わせて、テキストに注を付けます。後期は『エリザベート』第二幕の他、ミュージカル『モーツァルト』やウィーンの文化や歴史に関するテキストを読む予定です（『ダンスオブヴァンパイア』、『マリーアントワネット』、『レベッカ』等のウィーンミュージカルも希望があれば検討します）。どのテキストを読むかについては、受講生の希望を取り入れたいと思います。

19世紀後半から20世紀初頭にかけてのウィーンは、様々な思想、文化、芸術が生まれた非常に興味深い都市です。それらに関しても随時取り上げていきたいと思っています。

授業方法

授業の前半では文法の説明、練習問題、作文を行います。後半では、受講生に課題テキストを和訳してもらい、解説を加えます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業時に次の授業で扱う部分を指示しますので、単語を調べるだけでなく、きちんと文法や意味を考えて訳してきてください(約1時間)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

定期試験の他に、平常点(授業に臨む姿勢、予習等)を評価の対象にします。積極的に授業に参加してください。全授業の三分の一以上を欠席した場合、成績評価の対象になりません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

学期末試験(第1学期)は授業内で返却し、解説します。

教科書コメント

プリントを配布。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

毎回必ず辞書を持ってきてください。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001104	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)4		
副題	読解を通して、初級文法の復習と中級文法入門を行う		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	保阪 良子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 2時限 中央－506		

授業概要

ドイツ語初級文法を学習した学生を対象としたクラスです。テキストを読みながら、基礎的な文法事項を確認、復習していきます。最初に、日本語に翻訳されている絵本『にじいろのさかな』(谷川俊太郎訳)のオリジナルDer Regenbogenfischを読みます。その後、職業をテーマとしたインタビューテキストを読みます。

到達目標

ドイツ語検定2～3級合格程度の読解力を身につけます。

授業内容

実施回	内容
第1回	履修者の決定、授業の進め方のガイダンス
第2回	初級文法の復習
第3回	ドイツ語の発音および音読の重要性
第4回	絵本および日本語訳の紹介
第5回	Der Regenbogenfisch
第6回	Der Regenbogenfisch
第7回	Der Regenbogenfisch
第8回	Der Regenbogenfisch
第9回	Der Regenbogenfisch
第10回	Der Regenbogenfisch
第11回	Der Regenbogenfisch
第12回	Der Regenbogenfisch
第13回	中級文法事項の確認
第14回	授業のまとめ
第15回	到達度の確認
第16回	ドイツの教育制度と職業教育についての紹介
第17回	扱うテキストの説明と勉強の仕方に関する注意点
第18回	時計職人
第19回	靴作り
第20回	パティシエ
第21回	美容師
第22回	ボート作り
第23回	大工
第24回	帽子作り
第25回	バイオリン作り
第26回	陶芸
第27回	製本
第28回	木のおもちゃ作り
第29回	授業のまとめ
第30回	到達度の確認

授業計画コメント

テキストのテーマについては、参加者の希望も踏まえて柔軟に対応する予定です。第1学期は過去形がメインのテキストですが、翻訳を参考にして文法事項に重点を置きます。インタビューテキストでは、質問と答えの関連性を正しく理解してしてテキストの大きなつながりを把握できるようになりましょう。

授業方法

全員がテキストをあらかじめ読んで準備していることを前提に進めます。テキストの音読ののち、意味内容を説明していただきます。そ

の後、こちらから質問をします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

辞書を有効に利用して、必ず予習してください。質問は授業中にしてください。音読練習も必ず自宅でしてください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	授業最終日に実施
学年末試験(第2学期)	20 %	授業期間内に実施
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	60 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

第1学期の試験の答案は第2学期に返却し、ミスの多かった事項を中心に解説します。

教科書コメント

授業中に適宜、プリントとして配布します。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001105	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)5		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	石崎 朝子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 2時限 西1－202		

授業概要

基礎文法を復習しながら読解力を身につけます。第2学期後半の授業では、新聞、雑誌、物語などの「実際の」テキストも読みます。その際のテーマはなるべく学習者の興味に応じたものを選択します。

到達目標

文法・文構造への理解をより深め、読解の精度を高められる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンスなど
第2回	第1課 ドイツの食文化 Brot Wurst Döner Kebab
第3回	第1課 不規則変化動詞、形容詞の語尾変化、形容詞の名詞化
第4回	第2課 物語を読む Herr Böse und Herr Streit
第5回	第2課 過去形、未来・推量の助動詞、従属接続詞
第6回	第3課 首都ベルリン Berlin –Eine wunderbare Stadt
第7回	第3課 再帰動詞、分離動詞、接続法2式
第8回	第4課 グリム童話 Der süsse Brei
第9回	第4課 指示代名詞、命令形
第10回	第5課 ウィーンのカフェ文化 Wiener Kaffeehauskultur
第11回	第5課 関係代名詞、現在完了形
第12回	第6課 高校卒業試験 Abschlussprüfung
第13回	第6課 現在完了形、zu不定詞、過去分詞の用法
第14回	理解度の確認
第15回	予備日
第16回	第7課 閉店法 Kurze Geschichte der Sonntagsruhe
第17回	第7課 話法の助動詞、受動文
第18回	第8課 外国人労働者、難民 Geschichte der Gastarbeiter
第19回	第8課 形容詞の比較表現、zu不定詞
第20回	第9課 ドイツ語の特徴 Vom deutschen Stil
第21回	第9課 定冠詞類、不定冠詞類、現在分詞の用法
第22回	こちらで用意したテキストを読み進めます(～第28回)
第29回	理解度の確認
第30回	予備日

授業方法

訳の発表および、文構造についての質問に答えてもらいます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

指示した箇所を予習してくること(約90分)。十分な予習時間が必要です。単語の意味を調べるだけでは不十分です。テキストの意味だけでなく構造についても述べられるよう、万全な準備をしてください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
------	---------	----

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):40% 文法を理解し、テキストに対し十分に取り組んだ上で授業に参加しているかなど、平常点を重視します。なお、全授業回数の1/3以上欠席した場合は「不合格」です。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

学期末試験の答えは返却し授業内で解説を行います。その他の提出物は添削し原則として次の授業日に返却します。

教科書

ドイツ語トライアングル やさしい中級テキスト9章,荻原耕平他,同学社,初,2018,9784810206982

参考文献コメント

独和辞典は必ず持参してください。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001106	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)6		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	狩野 智洋		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 3時限 中央－506		

授業概要

このクラスはドイツ語圏文化学科2年次指定クラスで、メルヘン、小説、新聞・雑誌記事等、様々な文章の読解を通じて、1年次に学んだドイツ語の基礎をより確実にすると同時に、種々のドイツ語文章に対応する読解力を養成する。文法事項を踏まえ、文章を正確に読むことを目指す。

到達目標

様々なドイツ語の文章を、文法を踏まえ、前後関係を把握し、相当程度正確に読むことができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス。一年次の復習(接続法1)
第2回	一年次の復習(接続法2)
第3回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(1)
第4回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(2)
第5回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(3)
第6回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(4)
第7回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(5)
第8回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(6)
第9回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(7)
第10回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(8)
第11回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(9)
第12回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(10)
第13回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(11)
第14回	理解度の確認
第15回	自主研究
第16回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(12)
第17回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(13)
第18回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(14)
第19回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(15)
第20回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(16)
第21回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(17)
第22回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(18)
第23回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(19)
第24回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(20)
第25回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(21)
第26回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(22)
第27回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(23)
第28回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(24)
第29回	理解度の確認
第30回	自主研究

授業方法

受講者各自にドイツ語を読んで訳してもらい、教員がそれぞれの誤りを訂正し、また、重要な文法事項や内容等に解説を加えながら授業を進める。担当者以外の受講者に意見を求めることもあるので、積極的に授業に参加することが求められる。また、時間の許す限りにおいて、テキスト理解やドイツ語圏の生活・文化に対する理解を深めるための写真等も見ると予定である。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予定した範囲の文章を事前に和訳し、理解する(約2時間)。読み合わせた部分の重要事項を事後に再確認し、覚える(約30分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

答案を返却し、注意点を指摘する。

教科書コメント

プリント配布。

参考文献

独和辞典, 富山・他, 郁文堂, 2

独和大辞典, 国松／岩崎・他, 小学館, 2

中級ドイツ文法, 中山豊, 白水社

[改訂版] 詳解ドイツ語文法, 在間進, 大修館書店

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001107	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)7		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	伊藤 白		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 2時限 西2－304		

授業概要

この授業はドイツ語圏文化学科2年次の学生を対象としています。
A2レベルのテキストをできるだけたくさん読みまた聞くことで、語彙や表現を増やし、1年次にならった文法を定着させていきます。

到達目標

- ・ある程度の量のドイツ語のテキストを、一度に読んで理解できるようにする。
- ・少しくらい意味の分からない単語があっても、テキスト全体の文意をつかめるようにする。
- ・テキストによく出てくる単語や表現を覚える。

授業内容

実施回	内容
第1回	イントロダクション
第2回	テキスト読解①
第3回	テキスト読解②
第4回	テキスト読解③
第5回	テキスト読解④
第6回	テキスト読解⑤
第7回	テスト①
第8回	テキスト読解⑥
第9回	テキスト読解⑦
第10回	テキスト読解⑧
第11回	テキスト読解⑨
第12回	テキスト読解⑩
第13回	テキスト読解⑪
第14回	テスト②
第15回	自主研究
第16回	テキスト読解⑫
第17回	テキスト読解⑬
第18回	テキスト読解⑭
第19回	テキスト読解⑮
第20回	テキスト読解⑯
第21回	テキスト読解⑰
第22回	テスト③
第23回	テキスト読解⑱
第24回	テキスト読解⑲
第25回	テキスト読解⑳
第26回	テキスト読解㉑
第27回	テキスト読解㉒
第28回	テキスト読解㉓
第29回	テスト④
第30回	自主研究

授業方法

グループワークが主体です。各グループで行ったのち、全体での確認をします。毎回、単語リストを作成します。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業で扱うテキストを事前に読み、日本語訳をノートにまとめる。事前の準備をきちんと行っているか、毎回その場でノートを確認します。(60分程度)

成績評価の方法・基準

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	事前準備、単語リストの作成
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

テストは毎回、返却します。

教科書コメント

プリントをこちらで配布します。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

辞書と1年次に使った文法教科書を毎回、持ってきてください。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001108	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)8		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	加藤 耕義		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 3時限 西2－406		

授業概要

この授業はドイツ語圏文化学科2年次の学生を対象としています。ドイツ語読解力の向上を目的とします。エッセイ、メルヒェン、文学などさまざまな種類の文章をテンポ良く読んでいきます。 コピーを配布します。

到達目標

ドイツ語技能検定試験2級合格程度の読解力および文法知識の習得を目標とする。

授業内容

実施回	内容
第1回	テキスト1
第2回	テキスト1
第3回	テキスト2
第4回	テキスト2
第5回	テキスト3
第6回	テキスト3
第7回	中間試験
第8回	テキスト4
第9回	テキスト4
第10回	テキスト5
第11回	テキスト5
第12回	テキスト6
第13回	テキスト6
第14回	理解度の確認
第15回	自主研究
第16回	テキスト7
第17回	テキスト7
第18回	テキスト8
第19回	テキスト8
第20回	テキスト9
第21回	テキスト9
第22回	中間試験
第23回	テキスト10
第24回	テキスト10
第25回	テキスト11
第26回	テキスト11
第27回	テキスト12
第28回	テキスト12
第29回	理解度の確認
第30回	自主研究

授業方法

輪読形式で予習してきたものを発表し、わからなかった箇所は隣の人と相談する。さらに教員が解説を加える。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習は少なくとも2時間。それ以外に音読は毎日15分。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
------	---------	----

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	22 %	
学年末試験(第2学期)	22 %	
中間テスト	44 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	12 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):12% 中間テスト:44% 第1学期(学期末試験):22% 第2学期(学年末試験):22%全授業の3分の1以上休んだ場合には評価しません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験終了後にフィードバックします。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001109	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)9		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	石井 寿子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 2時限 西1－306		

授業概要

まず各課に入る冒頭で、各課のテーマについて調べて日本語で5分程度の発表をしてもらいます。音読し、訳し、練習問題を解き、1課を2回の授業で読むペースで進めていきます。

到達目標

ドイツの現代事情について知識を深め、同時に時事的なドイツ語のテキストを読みこなせる語学力をつけます。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス
第2回	Kapitel 1 Das Grundgesetz – ein Glücksfall für deutschland 発表・前半
第3回	Kapitel 1 Das Grundgesetz – ein Glücksfall für deutschland 後半・練習問題
第4回	Kapitel 2 Frauen in Politik und Gesellschaft 発表・前半
第5回	Kapitel 2 Frauen in Politik und Gesellschaft 後半・練習問題
第6回	Kapitel 3 Deutschlands politische Jugend 発表・前半
第7回	Kapitel 3 Deutschlands politische Jugend 後半・練習問題
第8回	Kapitel 4 Männlich, weiblich, divers 発表・前半
第9回	Kapitel 4 Männlich, weiblich, divers 後半・練習問題
第10回	Kapitel 5 Wohnungsnot und hohe Mieten 発表・前半
第11回	Kapitel 5 Wohnungsnot und hohe Mieten 後半・練習問題
第12回	Kapitel 6 EU beschließt Plastikverbot 発表・前半
第13回	Kapitel 6 EU beschließt Plastikverbot 後半・練習問題
第14回	第1学期のまとめ
第15回	第1学期のおさらい(解説)
第16回	Kapitel 7 Im Land der Heimwerker 発表・前半
第17回	Kapitel 7 Im Land der Heimwerker 後半・練習問題
第18回	Kapitel 8 100 Jahre Bauhaus 発表・前半
第19回	Kapitel 8 100 Jahre Bauhaus 後半・練習問題
第20回	Kapitel 9 Modezar Karl Lagerfeld ist tot 発表・前半
第21回	Kapitel 9 Modezar Karl Lagerfeld ist tot 後半・練習問題
第22回	Kapitel 10 Deutsche Rechtschreibung: Schulen schaffen “Lesen durch Schreiben ab” 発表・前半
第23回	Kapitel 10 Deutsche Rechtschreibung: Schulen schaffen “Lesen durch Schreiben ab” 後半・練習問題
第24回	Kapitel 11 Der Deutsche Alpenverein: Wir lieben die Berge. Seit 1869 発表・前半
第25回	Kapitel 11 Der Deutsche Alpenverein: Wir lieben die Berge. Seit 1869 後半・練習問題
第26回	Kapitel 12 Stille Nacht! Heilige Nacht! – Ein Weihnachtslied geht um die Welt 発表・前半
第27回	Kapitel 12 Stille Nacht! Heilige Nacht! – Ein Weihnachtslied geht um die Welt 後半・練習問題
第28回	第2学期のまとめ
第29回	第2学期のおさらい(解説)
第30回	1年間の復習

授業計画コメント

第1回目の授業で発表の担当を決めますので、15課のうちどのテーマを担当したいかを考えておいてください。

授業方法

まず発表で予備知識を得た後、CDを用いて長文をドイツ人と同じスピードで音読する訓練をします。次に日本語に訳していただきます。ニュースの背景を把握しながら的確に理解する訓練をします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

必ず事前に読み、解らないところをチェックして、授業で質問して下さい。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

第1・第2学期の筆記試験の結果と平常点を合わせ、60点以上を合格とします。3分の2以上の出席を試験を受ける資格とします。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

練習問題と筆記試験は答え合わせと解説をして、正しかったか、どこが間違っていたのかを確認します。

教科書

時事ドイツ語2020年度版,ラープ・石井,朝日出版社,初,2020,978-4-255-25434-0

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001110	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)10		
副題	読解を通して、文法構造の把握力および語彙力を身につけましょう		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	保阪 良子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 3時限 南1－101		

授業概要

ドイツ語初級文法をすでに学習した学生を対象としたクラスです。文法事項としては、基礎文法の復習および中級レベルの勉強をします。テキストをなるべくたくさん読んでより多くの語彙を身に着けることを目標とします。ドイツの伝統的あるいは現代的な職業をテーマとしたSachtexと、読みやすくライトされた文学テキスト(グリム童話)の両方を扱います。

到達目標

ドイツ語検定2～3級合格程度の読解力を身につけます。

授業内容

実施回	内容
第1回	履修者の決定、授業の進め方のガイダンス
第2回	初級文法の復習
第3回	ドイツ語の発音、さまざまな読みのスタイル
第4回	ドイツの学校教育制度と職業教育について概観する
第5回	Konditor*in
第6回	Zimmermann
第7回	Friseur*in
第8回	Uhrmacher*in
第9回	Modist*in
第10回	Bootsbauer*in
第11回	Geigenbauer*in
第12回	Massschuhmacher*in
第13回	中級文法事項の確認
第14回	授業のまとめ
第15回	到達度の確認
第16回	Der Froschkönig
第17回	Der Froschkönig
第18回	Rotkäppchen
第19回	Rotkäppchen
第20回	Die Bremerstadtmusikanten
第21回	Die Bremerstadtmusikanten
第22回	Schneewittchen
第23回	Schneewittchen
第24回	Dornröschen
第25回	Dornröschen
第26回	Frau Holle
第27回	Frau Holle
第28回	Sterntaler
第29回	授業のまとめ
第30回	到達度の確認

授業計画コメント

テキストのテーマについては、参加者の希望も踏まえて柔軟に対応する予定です。第1学期は現在形および現在完了形がメインのテキスト、第2学期は物語なので過去形が使われるテキストとなります。

授業方法

全員がテキストをあらかじめ読んで準備していることを前提に進めます。テキストの音読ののち、意味内容を説明していただきます。その後、こちらから質問をします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

読解テキストは必ず予習してきてください。テキストを正しく理解するためには、ドイツ語の構造と語彙を正しく理解することがが重要です。辞書を有効に使用してください。質問は授業中にしてください。音読練習も必ず自宅で行ってください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	授業最終日に実施
学年末試験(第2学期)	20 %	授業期間内に実施
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	60 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

第1学期の試験の答えは第2学期に返却し、ミスの多かった事項を中心に解説します。

教科書コメント

授業中に適宜、プリントとして配布します。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001111	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)11		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	内堀 淳志		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 土曜日 1時限 西1－210		

授業概要

ドイツ語で書かれたテキストを読解する。
 並行して、初級ドイツ語の授業で習得した事項の復習、確認をする。
 なお、この授業はドイツ語圏文化学科2年次の学生を対象としている。

到達目標

ドイツ語の文章を読解する際のポイントを、履修者が把握できるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス
第2回	テキスト1読解、関連する文法事項の確認、解説
第3回	テキスト1読解(続き)
第4回	同上
第5回	テキスト2読解、関連する文法事項の確認、解説
第6回	テキスト2読解(続き)
第7回	同上
第8回	テキスト3読解、関連する文法事項の確認、解説
第9回	テキスト3読解(続き)
第10回	同上
第11回	テキスト4読解、関連する文法事項の確認、解説
第12回	テキスト4読解(続き)
第13回	同上
第14回	まとめ
第15回	予備日
第16回	テキスト5読解、関連する文法事項の確認、解説
第17回	テキスト5読解(続き)
第18回	同上
第19回	テキスト6読解、関連する文法事項の確認、解説
第20回	テキスト6読解(続き)
第21回	同上
第22回	テキスト7読解、関連する文法事項の確認、解説
第23回	テキスト7読解(続き)
第24回	同上
第25回	テキスト8読解、関連する文法事項の確認、解説
第26回	テキスト8読解(続き)
第27回	同上
第28回	同上
第29回	まとめ
第30回	予備日

授業方法

演習ならびに講義

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

事前にテキストに目を通し、日本語に訳せるように単語の意味を調べ、さらに、不明な箇所をあげておく(1時間～2時間)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	25 %	
中間テスト	25 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	25 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点については、授業中の発表内容が特にポイントとなる。
 また進度を勘案したうえで、中間テストを行い、理解度をチェックする。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

学期末試験の答えは返却し、履修者各自に内容確認を促し、授業内で解説を行う。

教科書コメント

プリント使用の予定。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

授業時間内に使用する可能性があるので、独和辞典および文法の教科書を持参のこと(電子辞書可)。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001112	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)12		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	鎌倉 澄		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 1時限 中央－505		

授業概要

ドイツ語の初級文法を一通り学習した学生を対象とします。
ドイツ語読解の基本を押さえ、既習・未習の事項を確認、説明しつつ、テキストを読んでいきます。
扱うテキストは、ドイツ語の子供向け百科事典サイトや、ドイツ語学習者向けのニュースサイト、さらにドイツ国内の名所や博物館等のWebサイト等から、参加者の興味関心に応じながら選びます。
平易で短いテキストから始め、徐々に長いテキストを読めるようにしていきます。適宜音読や聞き取りも取り入れ、音声からの読解も練習していきます。

到達目標

各自が興味ある分野のドイツ語による情報を独自に入手し、平易なテキストであれば自力で大まかな内容を理解でき、難しいものでも辞書等の助けがあれば理解できるレベルに達することが目標です。

授業内容

実施回	内容
第1回	ドイツ語読解の基礎、Tiere(生き物)1 Käfer(甲虫) 動詞の現在人称変化
第2回	Tiere1-2 Käfer 名詞の性数格、比較表現
第3回	Tiere1-3 Käfer 形容詞の付加語的用法、現在完了
第4回	Tiere2-1 Bär(熊) 前置詞、助動詞、同等比較
第5回	Tiere2-2 Bär sein/habenの過去形、3・4格支配の前置詞
第6回	Tiere3-1 Hai(鮫) 関係代名詞
第7回	Tiere3-2 Hai / Tiere4-1 Fledermaus(蝙蝠) 再帰代名詞、es gibt 4格
第8回	Tiereまとめと復習
第9回	Personen(人物)1 Beethoven / Hitler 過去形、使役lassen
第10回	Personen2-1 Chaplin 受動、色々な従属接続詞
第11回	Personen2-2 Chaplin 分詞
第12回	Personen2-3 Chaplin 呼応表現
第13回	Der große Diktator ―HitlerとChaplin―
第14回	第1学期まとめ 理解度の確認
第15回	振り返り
第16回	Japan und Deutschland 1-1 Erfindungen(ドイツの発明品)
第17回	Japan und Deutschland 1-2 Erfindungen 前置詞付きの関係代名詞
第18回	Japan und Deutschland 2 Japanische Kultur1(外から見た日本)
第19回	Japan und Deutschland 2 Japanische Kultur 2 Wohnen(住まい)
第20回	Japan und Deutschland 2 Japanische Kultur 3 Essen(食事)
第21回	Japan und Deutschland 2 Japanische Kultur 4 Kleidung(衣服)
第22回	Japan und Deutschland 3 Das Lied der Deutschen (ドイツの国歌)
第23回	Japan und Deutschland 4 Verfassung(憲法)
第24回	Feste und Bräuche(祝祭)1 Advent(待降節)
第25回	Feste und Bräuche 2 Nikolaus(聖ニコラウス)
第26回	Feste und Bräuche 3 Weihnachtsmärkte(クリスマスマーケット)
第27回	Feste und Bräuche 4 Thomanerchor an der Thomaskirche Leipzig 1 (聖トーマス教会合唱隊)
第28回	Feste und Bräuche 4 Thomanerchor an der Thomaskirche Leipzig 2 (聖トーマス教会合唱隊)
第29回	第2学期まとめ 理解度の確認
第30回	振り返り

授業計画コメント

第1学期は文法確認をしながらゆっくり着実に力をつけていきます。
授業内容の欄には用意したテキストの内容を一応記載しましたが、特に2学期は参加者の興味に応じて臨機応変にテキストを選んでいくつもりです。応用練習のつもりで、様々なテキストに挑戦していきましょう。

授業方法

授業方法

ペアワーク、グループワークも取り入れながら、全員でテキストを読み進めていきます。
授業内で指示された課題(予習、復習、練習問題等)は、必ず行ってください。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

復習、文の構造チェック、単語の下調べ、練習問題、音読等、毎回少しずつ課題を出します。無理なく30分程度でこなせるような内容にしますので、必ず行ってください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト	10 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点:毎回の課題(予習・復習)への取り組み状況、毎回の授業での参加度を点数化します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題、および試験については、授業内、または学習プラットフォームMoodleを利用してフィードバックします。

教科書コメント

毎回プリントを用意します。

参考文献コメント

独和辞典を持参してください。ネット上の翻訳アプリなどは使用しないこと。初級で用いた文法教科書を活用しましょう。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

皆さんの積極的な参加が必要不可欠です。期待しています。
授業前20分、教室または講師控室で、それ以外はメールでの質問を受け付けます。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001113	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)13		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	木村 裕一		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 1時限 西1－105		

授業概要

ドイツ語の初級文法をひととおり学んだ学生を対象とし、ドイツ語の文章を読むことで読解力や語彙力を身につけてもらうことを目的とします。
 授業で扱うテキストはすべてドイツ語圏に関するテーマを取り上げていますので、ドイツ語だけでなくドイツ語圏のさまざまな地域事情についても理解が深められるようになっていきます。

到達目標

- ・文法的知識にもとづき、ドイツ語の辞書を適切に活用できるようになること
- ・ドイツ語の表現を「単語の意味の集合」としてツギハギに理解するのではなく、文法的知識にもとづき分析的に理解できるようになること

授業内容

実施回	内容
第1回	イントロダクション 授業の概要、初級ドイツ語の振り返り
第2回	地理と気候
第3回	文法[冠詞(類)の格変化、基数と序数]
第4回	食生活
第5回	文法[前置詞の格支配、前置詞を含む熟語]
第6回	ドイツの大学
第7回	文法[話法の助動詞、不定代名詞 man]
第8回	祝日と休暇
第9回	文法[形容詞の格変化、形容詞の名詞化]
第10回	教育制度
第11回	文法[分離動詞と非分離動詞、再帰代名詞と再帰動詞]
第12回	文法[過去の表現、受動態]
第13回	文法[接続法第二式]
第14回	授業の総括
第15回	理解度の確認
第16回	前学期の学習内容の振り返り
第17回	政治制度(1)
第18回	政治制度(2)
第19回	文法[zu不定詞句]
第20回	音楽の国ドイツ(1)
第21回	音楽の国ドイツ(2)
第22回	文法[副文(従属文)の語順]
第23回	文法[関係代名詞]
第24回	二つのドイツ(1)
第25回	二つのドイツ(2)
第26回	文法[分詞の用法、冠飾句]
第27回	EU(1)
第28回	EU(2)
第29回	授業の総括
第30回	理解度の確認

授業方法

授業では主にテキストの講読を行い、付随した文法問題も解いていくことで初級文法を振り返りつつ、徐々に高度な文法事項を導入していきます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

- ・予習:各回、講読する範囲を指定するので、その箇所を読んでくること(30分～1時間程度)。
- ・復習:各Lektionごと的小テストに対応できるよう、各回ごとの学習内容をノートにまとめること(30分～1時間程度)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	20 %	文法テスト
学年末試験(第2学期)	20 %	文法テスト
中間テスト		
レポート		
小テスト	50 %	各課の区切りごとに小テストを実施
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

- ・各課毎に行う小テストと、期末に行う文法テストを主な評価対象とします。
- ・試験成績に加え、授業中の発言や態度などから算出する平常点も含め、総合的に評価します。
- ・授業回数の1/3以上欠席した学生は、理由にかかわらず評価の対象としません。
- ・10分以上の遅刻は、理由にかかわらず3回で1回分の欠席とみなします。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

小テストは採点後にコメントを付して返却します。

教科書

知りたいドイツ語～読みながらステップアップ, 斉藤太郎・Siegfried Kohlhammer, 朝日出版, 2018, 9784255254036

参考文献コメント

ドイツ語辞書は必ず持参すること。
また初級文法時に使用した教科書を携帯してもよい(適宜参考とする)。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

質問・相談は、授業前後に受け付けます。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001114	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)14		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	岡田 啓美		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 1時限 西1－206		

授業概要

やさしいドイツ語の文章を読み、練習問題をこなすことによって、初級ドイツ語の発音、文法、読解力の定着を目指す。なお、初回は初級文法の復習を行なうので、ベーシックで使用した教科書を持参すること。

到達目標

辞書を使って、自力でドイツ語の文章を読んだり、ドイツ語でコミュニケーションを取れるようになる

授業内容

実施回	内容
第1回	初級文法(ドイツ語の基本構造)・発音の復習、DVD観賞(ドイツという国)
第2回	初級文法の復習(動詞の人称変化、格変化)、DVD観賞
第3回	初級文法の復習2
第4回	テキスト購読
第5回	〃
第6回	〃
第7回	〃
第8回	〃
第9回	〃
第10回	〃
第11回	〃
第12回	〃
第13回	第1学期のまとめ(1) DVD観賞
第14回	第1学期のまとめ(2)
第15回	予備日
第16回	前期の復習、DVD観賞(オクトーバーフェスト)
第17回	テキスト購読
第18回	テキスト購読、DVD鑑賞(ドイツ再統一)
第19回	テキスト購読
第20回	〃
第21回	〃
第22回	テキスト購読、DVD鑑賞(ベルリンの壁崩壊)
第23回	テキスト購読
第24回	〃
第25回	〃
第26回	〃
第27回	〃
第28回	第2学期のまとめ、DVD観賞(ドイツのクリスマス)
第29回	年間総まとめ
第30回	予備日

授業計画コメント

上にも書いたとおり、初回は、初級文法の復習・補足説明を行うので、必ずベーシックで使用した教科書を持参すること。辞書は初級で使用したものを引き続き使用して下さい。

授業方法

基本は学生諸君がテキストの訳読や練習問題をやる形になりますが、適宜文法説明や関連映像の上映も行なっていきます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回、次週授業で進む範囲は指示するので、その範囲はしっかり読んで訳してくること

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート	10 %	
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):30% 第1学期(学期末試験):30% 第2学期(学年末試験):30% レポート:10%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

前期試験は後期初回授業時に返却し、前期の復習に活用します。

教科書

おさらいドイツ語 ― 納得!ドイツ語ってそうなのか,在間進,朝日出版社,2013,978-4-255-25365-7

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001115	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)15		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	青木 敦子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 4時限 西1－102		

授業概要

ドイツ語の初級文法をひととおり終えた受講者が、文法事項を確認しながら、ドイツ語の文章を読むことによって、読解力と語彙力を身に着ける訓練をしていきます。

到達目標

1. 正確な読解力と豊かな語彙力を身に着ける。
2. ドイツに関する知識と文化への理解を深める。

授業内容

実施回	内容
第1回	0課: 自己紹介 動詞の現在人称変化
第2回	1課: 地理と気候 冠詞の格変化
第3回	2課: 食生活 前置詞の格支配
第4回	3課: ドイツ語という言葉 名詞の複数形
第5回	4課: ドイツの大学 話法の助動詞
第6回	5課: 祝日と休暇
第7回	5課: 形容詞の格変化 形容詞の名詞化
第8回	6課: ドイツの治安事情
第9回	6課: 比較表現
第10回	7課: 教育制度
第11回	7課: 分離動詞と非分離動詞
第12回	8課: 政治制度
第13回	8課: 受動態
第14回	理解度の確認
第15回	到達度確認
第16回	9課: ドイツの歴史事情
第17回	9課: ドイツの歴史事情
第18回	9課: 過去の表現
第19回	10課: 音楽の国ドイツ
第20回	10課: 音楽の国ドイツ
第21回	10課: 副文
第22回	11課: ドイツの宗教事情
第23回	11課: ドイツの宗教事情
第24回	11課: 関係代名詞
第25回	12課: 二つのドイツ
第26回	12課: 分詞と冠飾句
第27回	13課: EUとドイツ
第28回	14課: 接続法
第29回	理解度の確認
第30回	到達度確認

授業方法

履修者一人一人に、テキストの音読と日本語訳および文法問題を担当してもらいます。

準備学習(予習・復習)

授業前にあらかじめ教科書の練習問題を解いておくこと(30分から1時間)
 授業中で確認したことを確認しておくこと(30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
------	---------	----

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業への積極的な参加態度を重視します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

前期の試験は返却し、授業内で解説を行う。
小試験については、返却の上、再提出してもらう。

教科書

知りたいドイツ語 読みながらステップアップ,Siegfried Kohlhammer、斉藤太郎,朝日出版社,2018,978-4-255-25403-6 C 1084

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821001116	科目ナンバリング	002D223
講義名	ドイツ語R(中級)16		
英文科目名	German (Intermediate Course; Reading)		
担当者名	高瀬 誠		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 3時限 西1－109		

授業概要

初級で学習したことをベースにして、ドイツ語の Text を読み、内容について理解する力を養成することを目的とする。

到達目標

ドイツ語の Text を読み解きながら内容について理解し、自分の言葉で説明できるようにする。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス
第2回	Lektion 1: Text 読解、文法項目確認
第3回	Lektion 1: Text 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第4回	Lektion 1 練習問題(続き)、Lektion 2: Text 読解
第5回	Lektion 2: Text 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第6回	Lektion 2 練習問題(続き)、Lektion 3: Text 読解
第7回	Lektion 3: Text 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第8回	Lektion 3 練習問題(続き)、Lektion 4: Text 読解
第9回	Lektion 4: Text 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第10回	Lektion 4: 練習問題(続き)、Lektion 5: Text 読解
第11回	Lektion 5: Text 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第12回	Lektion 5 練習問題(続き)、Lektion 6: Text 読解
第13回	Lektion 6: Text 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第14回	Lektion 6 練習問題(続き)、まとめ
第15回	理解度の確認
第16回	1学期期末試験の返却と解説
第17回	Lektion 7: Text 読解、文法項目確認、練習問題
第18回	Lektion 7 練習問題(続き)、Lektion 8: Text 読解
第19回	Lektion 8: Text 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第20回	Lektion 8 練習問題(続き)、Lektion 9: Text 読解
第21回	Lektion 9: Text 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第22回	Lektion 9 練習問題(続き)、Lektion 10: Text 読解
第23回	Lektion 10: Text 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第24回	Lektion 10 練習問題(続き)、Lektion 11: Text 読解
第25回	Lektion 11: Text 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第26回	Lektion 11 練習問題(続き)、Lektion 12: Text 読解
第27回	Lektion 12: Text 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第28回	Lektion 12 練習問題(続き)、Lektion 13: Text 読解
第29回	Lektion 13: Text 読解(続き)、文法項目確認、練習問題
第30回	理解度の確認

授業計画コメント

第 2 回目以降、はじめのうちは教科書となる Text の読解、必要となる文法事項の説明と練習とするが、参加者の構成・希望によっては、順番や内容を途中で変更したり、新たな Text へ変更したりすることもある。

授業方法

講義・演習

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

あらかじめ Text を読み、分からない語句は辞書などで調べておくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	45 %	
学年末試験(第2学期)	45 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):10% 第1学期(学期末試験):45% 第2学期(学年末試験):45%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題は次の時間に答え合わせをする

テストは返却後授業で解説

教科書

新・ドイツ語を楽しもう,菊池 悦朗,第三書房,2015

参考文献コメント

授業時に適宜指示する。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

辞書は必ず持参のこと。できればベーシックの授業時の教科書も持参するとよい。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821002101	科目ナンバリング	002D323
講義名	ドイツ語R(上級)		
英文科目名	German (Advanced Course; Reading)		
担当者名	狩野 智洋		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 3時限 中央－505		

授業概要

テキスト理解を深めるのに必要なドイツ語圏の社会、文化、歴史等に関する知識を踏まえた、高度な読解力を身につけることを目標とする。扱うテキストはできる限り受講者の希望に沿ったものを使用する。

到達目標

各種のドイツ語文章を、文法を踏まえ、更に、社会や文化、歴史的背景等も考慮し、より深く読み解くことができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス
第2回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(1)
第3回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(2)
第4回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(3)
第5回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(4)
第6回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(5)
第7回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(6)
第8回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(7)
第9回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(8)
第10回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(9)
第11回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(10)
第12回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(11)
第13回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(12)
第14回	理解度の確認
第15回	自主研究
第16回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(13)
第17回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(14)
第18回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(15)
第19回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(16)
第20回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(17)
第21回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(18)
第22回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(19)
第23回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(20)
第24回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(21)
第25回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(22)
第26回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(23)
第27回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(24)
第28回	受講生によるテキストの読解発表と教師による解説、質疑応答、意見交換(25)
第29回	理解度の確認
第30回	自主研究

授業方法

読解中心になるが、その都度テキストの内容や背景に関し、受講者が意見を述べたり、討論するような形にしたいと思っているので、受講者には積極的に意見や感想を述べて貰いたい。また、最初のテキスト以外は、出来る限り受講者の興味関心に沿ったテキストを読みたいと思っているので、読みたいと思う分野、或いはテキストそのものを遠慮せずに提案して欲しい。出来るだけ多くの文章を読みたいとは思っているが、消化不良を起こしては意味がないので、無理のない進度で進めるつもりである。

また、時間の許す限りにおいて、テキスト理解やドイツ語圏の生活・文化理解のために、写真等も見ると予定である。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予定した範囲の文章を事前に和訳し、理解する(約2時間)。読み合わせた部分の重要事項を事後に再確認し、覚える(約30分)。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

答案を返却し、注意点を指摘する。

教科書コメント

プリント配布。

参考文献

独和辞典,富山・他,郁文堂,2

独和大辞典,国松／岩崎・他,小学館,2

中級ドイツ文法,中山豊,白水社

[改訂版]詳解ドイツ語文法,在間進,大修館書店

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100101	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)1		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	GOESSNER, Gesine		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 4時限 西1－305		

授業概要

ドイツ語の日常会話の習得を目指します。

到達目標

初めてドイツ語を習う学生を対象にしていますので、恥ずかしがらずに、元気に楽しく積極的に授業に参加していると、聞いたり話したりする力が自然と身につき、ドイツ語が少しずつ使えるようになります。

授業内容

実施回	内容
第1回	クラスについて
第2回	挨拶する
第3回	自分について1
第4回	自分について2
第5回	家族について 1
第6回	家族について 2
第7回	復習A
第8回	食べ物について
第9回	飲み物について
第10回	復習B
第11回	買い物に行く
第12回	100までの数字
第13回	復習C
第14回	復習A-C
第15回	グループ会話 (テスト)
第16回	休暇はどうでしたか？
第17回	私のアパート1
第18回	私のアパート2
第19回	復習D
第20回	暇なときは何をしていますか？1
第21回	暇なときは何をしています？ 2
第22回	復習E
第23回	何が好きですか？1
第24回	何が好きですか？2
第25回	復習F
第26回	勉強について 1
第27回	勉強について 2
第28回	復習G
第29回	復習D-G
第30回	グループ会話 (テスト)

授業方法

.コミュニケーション指向.

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

新しい復習。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
------	---------	----

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

結果はクラスで議論されます。

教科書

Schritte international neu 1,Daniela Niebisch,Huber,5,2016,978-3-19-301082-7

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100102	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)2		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	川口 眞理		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 4時限 西1－310		

授業概要

言語の仕組みを中心に学ぶドイツ語Bに対して、ドイツ語Cでは対話形式のパートナー練習を中心に、日常的な場面で応用の効く「型」となる表現を数多く覚えます。合わせてドイツ語圏社会・文化に関する知識も得られます。

到達目標

ドイツ語圏に滞在する際に直面する典型的な状況で必要となる表現を数多く覚え、基本的なコミュニケーション能力を身につけます（ドイツ語検定4～3級レベルの会話表現）。

授業内容

実施回	内容
第1回	ドイツ語圏について・アルファベート
第2回	綴りと発音の関係 挨拶
第3回	Lektion 1 自己紹介
第4回	Lektion 1 国名・専攻
第5回	Lektion 2 職業
第6回	Lektion 2 国籍
第7回	Lektion 3 友達の紹介
第8回	Lektion 3 数詞・言語名
第9回	Lektion 4 レストランでの会話
第10回	Lektion 4 持ち物① 色
第11回	Lektion 5 住まい・家具
第12回	Lektion 5 値段を聞く
第13回	Lektion 6 家族
第14回	理解度の確認・前期末テスト
第15回	振り返り
第16回	Lektion 6 持ち物②
第17回	Lektion 7 趣味・余暇活動
第18回	Lektion 7 頻度の表現・曜日
第19回	Lektion 8 贈り物
第20回	Lektion 8 身に付けるもの
第21回	Lektion 9 予定の取り決め
第22回	Lektion 9 ホテルの受付
第23回	Lektion 10 道案内
第24回	Lektion 10 交通手段
第25回	Lektion 11 時刻表現
第26回	Lektion 11 一日の行動
第27回	Lektion 12 旅行・週末
第28回	Lektion 12 過去の出来事を話す
第29回	理解度の確認
第30回	振り返り

授業計画コメント

授業進度は目安です。

授業方法

まずモデルとなる会話を聞き、語彙や文法を確認しつつ内容を理解します。その後会話中の一部を取り出したパートナー練習や関連する練習を行い、応用の効くキーセンテンスを身につけていきます。場面を自らの例に置き換えた作文や対話練習も行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

原則予習は必要ありませんが、宿題・課題はです(1時間～)。また授業で口頭で行った練習は自宅でノートに書き写し、何度も声に出して練習してください。語彙を整理し覚えていく努力も必要です。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート	15 %	課題提出
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	クラス参加の積極性など
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

前後期の期末試験の成績が7割、平常点と提出課題が3割で評価します。各期末試験は、出席が授業数の3分の2を超えていないと受けられません。また遅刻は3回で1回の欠席とみなされます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

前期末試験、提出課題は授業内で返却します。

教科書

シュピッツェ！1 コミュニケーションで学ぶドイツ語,新倉真矢子・正木晶子・中野有希子,朝日出版社,初,2018,9784255254227

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100103	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)3		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	青木 敦子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 3時限 西1-102		

授業概要

ドイツの街を巡る二人の会話をたどりながら、ドイツ語を読み、書き、話し、書くことを目指します。
口に出す、手で書く「運動」を通して、ドイツ語が自然に身につく訓練をしていきます。

到達目標

ドイツ語の基礎的なレベルの総合能力が身につくこと

授業内容

実施回	内容
第1回	ドイツ語の歴史と現代のドイツ事情
第2回	1課:自己紹介
第3回	1課:動詞の変化
第4回	2課:買い物をする
第5回	2課:不規則変化動詞
第6回	3課:注文をする
第7回	3課:動詞の現在人称変化(不規則変化)
第8回	4課:情報を集める
第9回	4課:名詞の性と冠詞
第10回	5課:数字を使いこなす
第11回	5課:名詞の複数形
第12回	6課:メールや手紙を書く
第13回	7課道を尋ねる 前置詞
第14回	理解度の確認
第15回	到達度の確認
第16回	8課:希望を尋ねる
第17回	8課:話法の助動詞
第18回	9課:ホテルで部屋を探す
第19回	9課:定冠詞類と不定冠詞類
第20回	10課:鉄道の旅を楽しむ
第21回	10課:分離動詞と非分離動詞
第22回	11課理由を尋ねる 接続詞
第23回	12課:予定について話す
第24回	12課:zu不定詞の用法
第25回	13課:比べて話す
第26回	13課:形容詞の比較級、最上級
第27回	14課:過去のことを話す
第28回	14課:過去形と現在完了形
第29回	理解度の確認
第30回	到達度の確認

授業方法

受講者一人一人に、テキストの音読、日本語訳、練習問題を担当してもらいます。

準備学習(予習・復習)

教科書に目を通し、ドイツ語の日本語訳と練習問題の解答をノートに書き留める(30分から1時間)
授業で確認したことをノートに書き留める(30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
------	---------	----

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	10 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

前期試験は採点して返却、解説します。
小テストは、採点、返却して、再提出してもらいます。

教科書

アンファンゲードイツの街へ,矢羽々崇、フランク・リースナー,第三書房,改訂,2020,978-4-8086-1196-5

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100104	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)4		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	KERN, Daniel		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 1時限 西1－210		

授業概要

ドイツ語の日常会話の習得を目指します。
実際にドイツに行ったときや、日本でドイツ人と話すときに役立つ練習を楽しく行います。
初めてドイツ語を習う学生を対象にしていますので、予備知識は必要ありません。恥ずかしがらずに、元気に楽しく積極的に授業に参加していると、聞いたり話したりする力が自然と身につく、ドイツ語が少しずつ使えるようになります。
教科書は、実践的でカラフルで楽しく学べる工夫がされています。
会話を身につけたい、いつかドイツに行ってみたいという目標をもっている人に向いているクラスです。

到達目標

ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)A1を到達目標とします。
「ごく簡単な表現を聞きとれて、基本的な語句で自分の名前や気持ちを伝えられる」ことから始め、
「日常生活での基本的な表現を理解し、ごく簡単なやりとりができる」ようになることを目標とします。

授業内容

実施回	内容
第1回	出会いの挨拶と別れの挨拶
第2回	自己紹介、出身国とことば
第3回	アルファベート、電話での会話
第4回	ごきげんよう、家族の紹介
第5回	住んでいる場所、1から20まで数える
第6回	人に関して説明する
第7回	物の名前と量
第8回	買い物での会話
第9回	21から100まで数える、好みを表現する
第10回	場所について尋ねる
第11回	住まいを説明する
第12回	満足と不満の表現
第13回	色
第14回	理解度の確認
第15回	自主研究
第16回	100から100万までの数
第17回	住まいの広告
第18回	時間の言い方
第19回	曜日の言い方
第20回	日常の行動
第21回	営業時間
第22回	天気、季節
第23回	買い物とレストランでの会話
第24回	同意、反論、否定
第25回	余暇と趣味
第26回	能力
第27回	意図を伝える、意志を伝える
第28回	過去のことを描写する、過去の行動について話す
第29回	理解度の確認
第30回	自主研究

授業計画コメント

履修者数制限あり。
第1回目の授業に必ず出席のこと。

授業方法

授業方法

教科書に沿って進めていきます。生のドイツ語を聞きながら、会話の練習をたくさんします。積極的にドイツ語で話しましょう。ペアー練習、グループ練習も行います。

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

毎日15分づつ、その週にやったことを復習してください。習った会話が口をついて出てくるようにしましょう。宿題は適宜出します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業の3分の1以上欠席した場合には成績評価しません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験に関するフィードバックは実施後行います。

教科書

Schritte international neu 1 (Kursbuch + Arbeitsbuch) ,Daniela Niebisch,Hueber,978-3-19-301082-7

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100105	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)5		
副題	ミュンヘンからドイツ語の世界へ		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	保阪 良子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 4時限 西2－305		

授業概要

ドイツ語入門者対象のクラスです。ミュンヘンをテーマにしたDVD映像・会話を軸にして入門ドイツ語の世界にはっていきます。授業では、基本的な文法事項をおさえてから、文法問題、話す練習、発音練習を織り交ぜていきます。

到達目標

ドイツ語技能検定試験4級合格程度の力を身につけます。

授業内容

実施回	内容
第1回	履修者の決定、授業の進め方についてのガイダンス、発音
第2回	教科書の構成・音声ダウンロードの紹介、挨拶表現、自己紹介の練習
第3回	第1課 動詞の現在人称変化(1)、語順、「ミュンヘン」
第4回	第2課 名詞の性と数、「ドイツの位置」
第5回	第2課 名詞の格変化、「ドイツ語圏」
第6回	第3課 名詞の複数形、「典型的な朝食とは？」
第7回	第3課 複数形の格変化、「ドイツの朝食」
第8回	第4課 動詞の現在人称変化(2)、「ミュンヘンの名物料理」
第9回	第4課 人称代名詞の格変化、「ビール」
第10回	第5課 前置詞(1)、「マリーエンプラッツ」
第11回	第5課 前置詞(2)、「読書」
第12回	第6課 所有冠詞の格変化、「ミュンヘン大学」
第13回	第6課 否定表現、「ショル兄弟」
第14回	授業のまとめ
第15回	到達度確認
第16回	第7課 分離動詞、「英国庭園」
第17回	第7課 接続詞、「パーティー」
第18回	第8課 話法の助動詞(1)、「ドイツ博物館」
第19回	第8課 話法の助動詞(2)、「自動車」
第20回	第9課 動詞の3基本形(1)、「ブンデスリーガ」
第21回	第9課 動詞の3基本形(2)、「スポーツクラブ」
第22回	第10課 現在完了(1)、過去分詞、「美術館」
第23回	第10課 現在完了(2)、「オクトーバーフェスト」
第24回	第10課 現在完了(3)、「民族衣装」
第25回	第11課 比較級・最上級、「アドベント」
第26回	第11課 zu不定詞、「クリスマス」
第27回	第12課 受動態、「環境問題」
第28回	第12課 再帰表現、「観光都市ミュンヘン」
第29回	授業のまとめ
第30回	到達度確認

授業方法

全体説明、個別・ペア・グループなどテーマや練習に合わせた作業形態を入れていきます。発音を重視しますので、授業中もある程度の音量で正確に発音することを求めます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回、次のような宿題を出します。1)会話や読解文等のテキストをすらすらと音読する。2)文法問題。3)読解文等の和訳。宿題は全

員がしてきていることを前提とします。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト	40 %	6回～10回程度
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	60 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業時間内に行う小テストは、第1学期に3回程度、第2学期に3回程度行います。この小テストに欠席すると0点の扱いになります。

小テストは授業時間内に行います。また追試や再試験は行いません。小テストを受けない場合、0点の扱いになります。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

小テストの解答は返却し、ミスが多かった事項については授業中に解説します。音読が課題の場合は、ひとりずつ全員に発音していただきます。

教科書

ミュンヘンに夢中,アンドレア・ラープ、石井学、石井寿子、保阪靖人、保阪良子,同学社,3,2018,978-4-8102-0744-6

教科書コメント

この授業の履修を許可された学生は全員、上記教科書を購入してください。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

無断欠席をしないようにしてください。欠席の場合は、あらかじめ口頭あるいはメールでお知らせ下さい。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100106	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)6		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	MCCOY, David Henry		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 1時限 西1－105		

授業概要

ドイツ語の日常会話の習得を目指します。実際にドイツに行ったときや、日本でドイツ人と話すときに役立つ練習を楽しく行います。初めてドイツ語を習う学生を対象にしていますので、予備知識は必要ありません。恥ずかしがらずに、元気に楽しく積極的に授業に参加してください。「ドイツ語は難しい」という偏見をとりはらって、楽しんで聞いたり話したるするうちに、自然にドイツ語が少しずつ使えるようになります。会話練習だけではなく、ドイツの文化にも触れられるよう、ドイツの音楽、映画、歴史についても授業中に紹介します。教科書は、実践的でカラフルで楽しく学べる工夫がされています。会話力を身につけたい、いつかドイツに行ってみたいという目標をもっている人に向いているクラスです。

到達目標

基本的な会話(例えば、自分や家族の紹介、買い物、仕事など)が出来るようになる。簡単な言葉や表現を使って、質問や説明が出来るようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	イントロダクション
第2回	Lektion 1 挨拶、自己紹介など
第3回	〃
第4回	〃
第5回	Lektion 2 家族や友達の紹介など
第6回	〃
第7回	〃
第8回	Lektion 3 食べ物と飲み物
第9回	〃
第10回	〃
第11回	Lektion 4 住居に関して
第12回	〃
第13回	〃
第14回	まとめ
第15回	予備日
第16回	第1学期の復習
第17回	Lektion 5 一日の出来事について
第18回	〃
第19回	〃
第20回	〃
第21回	Lektion 6 余暇について
第22回	〃
第23回	〃
第24回	〃
第25回	Lektion 7 趣味と勉強
第26回	〃
第27回	〃
第28回	〃
第29回	まとめ
第30回	予備日

授業計画コメント

教科書に沿って進めていきます。生のドイツ語を聞きながら、会話の練習をたくさんします。積極的にドイツ語で話してみましょう。

授業方法

Lecture, Speaking Drills, E-Learning

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

授業の復習や宿題(約30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):40% 第2学期(学年末試験):40% 小テスト:20% 出席および授業への参加度、授業内の小テストで評価します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

E-Learning System

教科書

Schritte International 1 NEU (Kursbuch + Arbeitsbuch),hueber,2016,978-3-19-301082-7

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100107	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)7		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	石井 寿子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 1時限 西1－306		

授業概要

ドイツ語を読み、書き、話し、聞く能力の文法基盤を習得します。

到達目標

基本的なドイツ語の文法事項を一通り網羅し、簡単な文を作れ、理解できるようにします。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス
第2回	Lektion 1 A/B Kursbuch
第3回	Lektion 1 A/B Arbeitsbuch
第4回	Lektion 1 C/D/E Kursbuch
第5回	Lektion 1 C/D/E Arbeitsbuch
第6回	Lektion 2 A/B Kursbuch
第7回	Lektion 2 A/B Arbeitsbuch
第8回	Lektion 2 C/D/E Kursbuch
第9回	Lektion 2 C/D/E Arbeitsbuch
第10回	Lektion 3 A/B/C Kursbuch
第11回	Lektion 3 A/B/C Arbeitsbuch
第12回	Lektion 3 D/E Kursbuch/Arbeitsbuch
第13回	第1学期の復習
第14回	第1学期のまとめ(筆記試験)
第15回	第1学期のおさらい(解説)
第16回	Lektion 4 A/B Kursbuch
第17回	Lektion 4 A/B Arbeitsbuch
第18回	Lektion 4 C/D/E Kursbuch
第19回	Lektion 4 C/D/E Arbeitsbuch
第20回	Lektion 5 A/B Kursbuch
第21回	Lektion 5 A/B Arbeitsbuch
第22回	Lektion 5 C/D/E Kursbuch
第23回	Lektion 5 C/D/E Arbeitsbuch
第24回	Lektion 7 A/B Kursbuch
第25回	Lektion 7 A/B Arbeitsbuch
第26回	Lektion 7 C/D/E Kursbuch
第27回	Lektion 7 C/D/E Arbeitsbuch
第28回	第2学期の復習
第29回	第2学期のまとめ(筆記試験)
第30回	第2学期のおさらい(解説)

授業計画コメント

教科書(Kursbuch)とワークブック(Arbeitsbuch)が一緒になっており、1課4回のペースで進めていきます。

授業方法

各課教科書で文法のポイントを押さえ、ワークブックで練習し使えるようにします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

課題となった練習問題は必ずやってくること。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

筆記試験と平常点を合わせ60点以上を合格とします。3分の2以上の出席を試験を受けられる資格とします。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

練習問題と筆記試験は答え合わせと解説をして、どこが間違っていたか、何が理解できていないかを把握できるようにします。

教科書

Schritte international Neu 1Kursbuch + Arbeitsbuch mit Audio-CD zum Arbeitsbuch und interaktiven Ubungen,Monika Bovermann, Daniela Niebisch, Franz Specht, Monika Reimann, Sylvette Penning-Hiemstra,Hueber,最新版,978-3-19-301082-7

参考文献コメント

独和辞典があると好ましい(電子辞書も可)

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100108	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)8		
副題	ドイツ語を使ってみよう!		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	高瀬 誠		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 4時限 西1－109		

授業概要

ドイツ語に関する基礎知識を学びつつ、それをドイツ語による情報の受信・発信の能力につなげることを目的とする。

到達目標

ドイツ語の Text を読解したり、聞き取ったりする能力や、実際に自分からドイツ語の文を発話したり、書いたりする基礎的な力をつける。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション、Alphabet と発音、挨拶の言葉
第2回	Lektion 1 あいさつ、つづりと発音（ 母音の発音、長母音、二重母音）
第3回	Lektion 1 人と知り合う、つづりと発音（子音の発音）
第4回	Lektion 1 紹介(名前・出身地・住まい)
第5回	Lektion 1 紹介(職業・趣味)
第6回	Lektion 2 時刻の表現
第7回	Lektion 2 人を誘う
第8回	Lektion 2 食べ物と飲み物
第9回	Lektion 3 所持品
第10回	Lektion 3 道案内
第11回	Lektion 3 家族
第12回	Lektion 4 買い物、値段
第13回	Lektion 4 プレゼント
第14回	第1学期のまとめと補足
第15回	第1学期の学習項目の理解度確認
第16回	第1学期期末試験 --- 解答と解説 ---
第17回	Lektion 5 天候
第18回	Lektion 5 週末の予定
第19回	Lektion 5 一日の行動
第20回	Lektion 6 夏休みの報告
第21回	Lektion 6 過去の出来事(1)
第22回	Lektion 7 位置の表現
第23回	Lektion 7 過去の出来事(2)
第24回	Lektion 7 物語
第25回	Lektion 8 病気
第26回	Lektion 8 計画
第27回	Lektion 8 文の組立て
第28回	Lektion 9 修理・家事
第29回	Lektion 9 開店・閉店時間、まとめと補足
第30回	学習理解度の確認

授業方法

講義

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業では課題を出す予定だが、その課題は毎回はきちんと行うこと。疑問点・不明点は教科書などをチェックし、解消しておくこと。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	45 %	
学年末試験(第2学期)	45 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)		
その他(備考欄を参照)	10 %	提出課題

成績評価コメント

提出課題:10% 第1学期(学期末試験):45% 第2学期(学年末試験):45%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題は回収後チェック・修正して返却

教科書

アプファールト〈ノイ〉 スキットで学ぶドイツ語,飯田道子/江口直光,三修社,2017

参考文献コメント

授業時に適宜指示する。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

不明点・疑問点などがあれば、質問してください。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100109	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)9		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	石崎 朝子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 3時限 西1－202		

授業概要

会話中心の教科書を用い、すぐ使えるドイツ語を身につけます。

到達目標

簡単な日常会話を習得できる。自分のこと、家族のこと、身の回りのもの、過去の出来事などについて言えるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス：ドイツ語とは、ドイツ語圏とは。
第2回	0課 発音 1課 あいさつ
第3回	1課 あいさつ
第4回	2課 自己紹介
第5回	2課 自己紹介
第6回	3課 持ち物について述べる
第7回	3課 持ち物について述べる
第8回	中間テスト 4課 食事、買い物、レストランでの注文
第9回	4課 食事、買い物、レストランでの注文
第10回	5課 家族の紹介
第11回	5課 家族の紹介
第12回	6課 自分の好きなことを説明する
第13回	6課 自分の好きなことを説明する
第14回	理解度の確認
第15回	総括
第16回	7課 ファッション 衣服や身の回り品について述べる
第17回	7課 ファッション 衣服や身の回り品について述べる
第18回	8課 街にて 位置関係、道案内
第19回	8課 街にて 位置関係、道案内
第20回	9課 休暇について述べる
第21回	9課 休暇について述べる
第22回	中間テスト 10課 身体 体調について話す
第23回	10課 身体 体調について話す
第24回	11課 活動 過去の出来事や思い出について話す
第25回	11課 活動 過去の出来事や思い出について話す
第26回	12課 天候と統計 天気や日付の表現
第27回	12課 天候と統計 天気や日付の表現 ドイツのクリスマス
第28回	12課 天候と統計 天気や日付の表現
第29回	理解度の確認
第30回	総括

授業方法

ペアワーク、グループワークがメインです。積極的な授業参加が求められます。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

予習は必要ありませんが十分な復習時間が必要です。学んだ範囲は必ず声に出して何度も発音し、キーフレーズは覚えること(40分)。宿題、作文等の課題(40分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	25 %	
中間テスト	30 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点の評価には、自発的な発言など授業への積極的な参加が含まれます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1学期期末テストおよび中間テストは返却し、授業内で解説します。

教科書

クラッセ！ノイ 初級ドイツ語総合読本,谷澤優子他,白水社,2,2018,9784560064214

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100110	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)10		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	松島 渉		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 2時限 西1－107		

授業概要

ドイツ語初学者のための授業です。ドイツ語の会話表現を身につけることを目標とします。基本的な文法もおさえつつ、場面や状況に応じた表現を覚えていきましょう。

到達目標

ドイツ語の基本的な会話表現を学び、活用できるようになる。(参考レベルCEFR A1)

授業内容

実施回	内容
第1回	履修者の決定、授業の進行についてのガイダンス、ドイツ語についての簡単な説明を行います。
第2回	Lektion 1 挨拶、自己紹介
第3回	Lektion 1 動詞の現在人称変化・動詞の位置
第4回	Lektion 2 職業、国籍
第5回	Lektion 2 sein動詞・並列接続詞・決定疑問文への応答
第6回	Lektion 3 友人を紹介する、数詞、言語
第7回	Lektion 3 動詞の現在人称変化・人を表す形容詞
第8回	Lektion 4 レストランでの会話・持ち物・色
第9回	Lektion 4 名詞の性・冠詞類・不規則変化動詞
第10回	Lektion 5 住まい・家具・数詞・値段
第11回	Lektion 5 人称代名詞・名詞の複数形
第12回	Lektion 6 家族・持ち物
第13回	Lektion 6 所有冠詞・否定冠詞
第14回	理解度の確認
第15回	予備日
第16回	既習事項の復習
第17回	Lektion 7 趣味・頻度・曜日
第18回	Lektion 7 不規則変化動詞
第19回	Lektion 8 贈り物・身につけるもの
第20回	Lektion 8 3格
第21回	Lektion 9 予定・規則・願望
第22回	Lektion 9 話法の助動詞・未来形
第23回	Lektion 10 道案内・交通手段
第24回	Lektion 10 前置詞
第25回	Lektion 11 時刻
第26回	Lektion 11 分離動詞
第27回	Lektion 12 旅行・天候
第28回	Lektion 12 現在完了形
第29回	理解度の確認
第30回	予備日

授業計画コメント

受講者の理解度によって実施回は前後することがあります。

授業方法

授業では発音練習、パートナー練習、音声メディアを使ったヒアリングなどを行います。原則として予習は必要ありませんが、その分受講者には集中して授業を受けることが求められます。コミュニケーション能力は語学力だけによるものではありません。積極的に授業に参加しましょう。
授業内容に関する質問はできるだけ授業時間内にしてください。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

復習として授業内で練習した会話表現を、最低1回は実際に声に出して発音してください。また、教科書内の問題を復習の課題として指定することがあります。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

教科書で学習した事項が試験・小テストで出題されます。
授業内の会話練習に対してあまりにも消極的な態度が見られた場合は平常点が減点されます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験は模範解答を配布します。質問には個別に応じます。

教科書

シュピッツェ！1 コミュニケーションで 学ぶドイツ語,新倉真矢子, 正木晶子, 中野有希子,朝日出版社,初版,2018,978-4-255-25422-7

参考文献

アクセス独和辞典,在間進,三修社,第3版,2010,978-4-384-01234-9
クラウン独和辞典,濱川祥枝, 信岡資生, 新田春夫,三省堂,第5版,2014,978-4-385-12011-9

参考文献コメント

外国語学習に辞書は必須です。特に指定はしませんが必ず辞書は買って下さい。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100111	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)11		
副題	Deutsch als Wahlfach		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	BRIEL, Rita		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 3時限 西1－211		

授業概要

アルファベットから始め、簡単な会話やテキストを用いて基本文法と話す力を養う訓練する。会話やテキストには、ドイツについての情報が含まれていて、異文化理解の助けとなる。正しい発音ができるようになるよう留意したい。きちんと出席し、授業に積極的に参加してほしい。

到達目標

The class is for beginners. No knowledge of German is necessary. Grammar explanations and how to learn a foreign language will be provided in Japanese. What you are going to learn? How to speak in simple terms about topics such as family and friends, eating and drinking, studying and leisure time, shopping and travel. You will also learn to read and understand easy texts about these topics.

授業内容

実施回	内容
第1回	自己紹介授業の説明、成績評価の説明
第2回	つづき、アルファベット発音
第3回	自己紹介とアルファベットの復習15分(口頭あるいは書き記しながら)、第1課（自己紹介）（人称代名詞動詞）
第4回	復習15分（第1、2課家族や友達）動詞と冠詞、冠詞の格変化、疑問文のある疑問文
第5回	復習15分（第1、2課）動詞、人称代名詞、所有冠詞(入門)
第6回	復習15分（第1、2課）定冠詞、不定冠詞、否定冠詞
第7回	7テスト第1－2課、成績評価に大切
第8回	第3課(食べ物、飲み物)、単語と冠詞、不規則動詞、決定疑問文
第9回	復習15分、第3課、否定冠詞、名詞の複数形
第10回	復習15分、第3課、数詞、不規則動詞
第11回	第3課の復習、第4課前半(お住まい)定冠詞の使い方、福祉(ここ、そこ)
第12回	第4課の復習、数詞
第13回	ドイツの映画
第14回	14 第1－4課の復習
第15回	15 テスト第1－4課
第16回	第1－4課の復習、数詞、第1課の冒頭部分、単語、与格代名詞
第17回	復習15分、第4課後半、形容詞、否定福祉、3格の人称代名詞
第18回	第4課の中の新聞の記事を読む、練習
第19回	復習15分第5課(私の一日)、時間と時間の前置詞
第20回	復習15分、曜日、分離動詞
第21回	第5課の復習
第22回	7テスト第4－5、成績評価に大切
第23回	第6課(暇)天気、買い物、レストランでの会話、4格の冠詞、代名詞、不規則動詞、
第24回	復習15分、第6課、助動詞/1、ja-nein-doch
第25回	第6課の復習
第26回	復習15分、第7課(外国語を学ぶ、外国語の学び方)助動詞/2
第27回	復習15分、第7課、現在完了形
第28回	復習15分、第7課、現在完了形続き
第29回	テストの説明 第6課、第7課
第30回	テスト

授業計画コメント

Changes of schedule are possible.

授業方法

教科書読みながら練習をします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

Please attend classes regularly, prepare for tests diligently, do homework, if given, properly.

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト	20 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):20% 中間テスト:20% 第1学期(学期末試験):30% 第2学期(学年末試験):30%大テストを第1学期に2度、第2学期に2度、小さな単語テストを何度か行う。60点をとることが合格の基準となる。きちんと出席し、授業に積極的に参加してほしい。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験を行ったあとに学生に採点した試験を返します。

教科書

Schritte international neu 1 (Kursbuch + Arbeitsbuch):Schritte international,D. Niebisch et. al,Hueber Verlag,newest版,978-3-19-301082-7

教科書コメント

Please buy the textbook as soon as possible.

参考文献コメント

特になし

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

特になし

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100112	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)12		
副題	Studio 21 (A1)		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	清野 智昭		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 3時限 西1－308		

授業概要

テーマごとに基本的な語彙や表現を身につけ、文法知識を使えるものにします。ドイツ語の入門と基礎固めをしながら「話す」「聞く」「書く」「読む」能力をバランスよく習得することを目標とします。

到達目標

様々な場面(挨拶、喫茶店、都市の紹介、アポをとる、道案内など)やテーマ(職業、休暇、飲食、洋服、天気、健康)におけるドイツ語の表現をマスターします。

授業内容

実施回	内容
第1回	挨拶表現;アルファベート
第2回	Lektion 1: 自己紹介の表現;疑問詞(wo, wohin)と前置詞(in, aus)
第3回	Lektion 1: カフェでの会話;平叙文と疑問文
第4回	Lektion 2: 教室での会話;単数形と複数形
第5回	Lektion 2: 教室での会話;定冠詞と不定冠詞、haben
第6回	Lektion 3: 国と都市;方角の表現
第7回	Lektion 3: 国と都市;seinの過去形、言語の名前
第8回	Lektion 4:人と住居;住居の描写
第9回	Lektion 4:人と住居;4格、所有冠詞、形容詞
第10回	Lektion 5: 時間の表現; 一日の予定、時刻
第11回	Lektion 5: 時間の表現; 分離動詞、habenの過去形
第12回	Lektion 6: 場所の表現: 道案内、3格
第13回	Lektion 6: 場所の表現: 建物の中の案内、序数
第14回	学期末試験
第15回	到達度確認と一学期の振り返り
第16回	一学期の復習
第17回	Lektion 7: 職業と活動: 職業の言い方、話法の助動詞(können, müssen)
第18回	Lektion 7: 職業と活動: 活動の言い方、所有冠詞の4格
第19回	Lektion 8: ベルリン: 道案内、3・4格支配の前置詞
第20回	Lektion 8: ベルリン: 遠足のプラン、話法の助動詞(wollen)
第21回	Lektion 9: 休暇: 休暇について話す、現在完了形(haben支配)
第22回	Lektion 9: 休暇: 事故の描写、現在完了形(sein支配)
第23回	Lektion 10: 飲食: 食料品の買い物、定冠詞類(welch-)
第24回	Lektion 10: 飲食: 食事の好み、比較級・最上級
第25回	Lektion 11: 衣服と天気: 衣服と色、形容詞の4格
第26回	Lektion 11: 衣服と天気: 天気予報、非人称表現(es)、話法の助動詞(mögen)
第27回	Lektion 12: 身体と健康: 症状を言う、命令形、話法の助動詞(dürfen)
第28回	Lektion 12: 身体と健康: スポーツについて話す、感情を表現する、人称代名詞の4格
第29回	学年末試験
第30回	到達度確認と一年間の振り返り

授業計画コメント

ドイツ語圏文化学科(1年次)のみを対象とした科目で、コミュニケーション演習(初級)1、2と同時履修することになっています。共通の教科書を用い、担当者間で内容や進度の確認をしながら進めていきます。

授業方法

主に下記の教科書を用いながら授業を進めます。パートナー練習、グループ練習なども含めて、なるべく多く発言することが求められます。

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

単語帳に挙がっている単語は毎回事前に目を通しておくこと。授業時に出た宿題を必ずやること。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	45 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

教科書の2つの課が終わるごとに小テストを授業中に行います。また、学期末または学年末には口頭試験を行います。そのほか、出席、宿題、授業中の参加姿勢を重視します。評価配分は、あくまで目安です。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

返却時にコメントします。

教科書

- Studio 21 (A1.1): Das Deutschbuch,Cornelsen
- Studio 21 (A1.2): Das Deutschbuch,Cornelsen
- Studio 21 (A1): Vokabeltaschenbuch,Cornelsen
- Studio 21 (A1): Glossar,Cornelsen

教科書コメント

以上のテキストはすべてそろえて必ず購入すること。購入方法は新学期ガイダンス時に指示します。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

原則として1年次に履修すること。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100113	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)13		
副題	Studio 21 (A1)		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	清野 智昭		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 4時限 西1－303		

授業概要

テーマごとに基本的な語彙や表現を身につけ、文法知識を使えるものにします。ドイツ語の入門と基礎固めをしながら「話す」「聞く」「書く」「読む」能力をバランスよく習得することを目標とします。

到達目標

様々な場面(挨拶、喫茶店、都市の紹介、アポをとる、道案内など)やテーマ(職業、休暇、飲食、洋服、天気、健康)におけるドイツ語の表現をマスターします。

授業内容

実施回	内容
第1回	挨拶表現;アルファベート
第2回	Lektion 1: 自己紹介の表現;疑問詞(wo, wohin)と前置詞(in, aus)
第3回	Lektion 1: カフェでの会話;平叙文と疑問文
第4回	Lektion 2: 教室での会話;単数形と複数形
第5回	Lektion 2: 教室での会話;定冠詞と不定冠詞、haben
第6回	Lektion 3: 国と都市;方角の表現
第7回	Lektion 3: 国と都市;seinの過去形、言語の名前
第8回	Lektion 4:人と住居;住居の描写
第9回	Lektion 4:人と住居;4格、所有冠詞、形容詞
第10回	Lektion 5: 時間の表現; 一日の予定、時刻
第11回	Lektion 5: 時間の表現; 分離動詞、habenの過去形
第12回	Lektion 6: 場所の表現: 道案内、3格
第13回	Lektion 6: 場所の表現: 建物の中の案内、序数
第14回	学期末試験
第15回	到達度確認と一学期の振り返り
第16回	一学期の復習
第17回	Lektion 7: 職業と活動: 職業の言い方、話法の助動詞(können, müssen)
第18回	Lektion 7: 職業と活動: 活動の言い方、所有冠詞の4格
第19回	Lektion 8: ベルリン: 道案内、3・4格支配の前置詞
第20回	Lektion 8: ベルリン: 遠足のプラン、話法の助動詞(wollen)
第21回	Lektion 9: 休暇: 休暇について話す、現在完了形(haben支配)
第22回	Lektion 9: 休暇: 事故の描写、現在完了形(sein支配)
第23回	Lektion 10: 飲食: 食料品の買い物、定冠詞類(welch-)
第24回	Lektion 10: 飲食: 食事の好み、比較級・最上級
第25回	Lektion 11: 衣服と天気: 衣服と色、形容詞の4格
第26回	Lektion 11: 衣服と天気: 天気予報、非人称表現(es)、話法の助動詞(mögen)
第27回	Lektion 12: 身体と健康: 症状を言う、命令形、話法の助動詞(dürfen)
第28回	Lektion 12: 身体と健康: スポーツについて話す、感情を表現する、人称代名詞の4格
第29回	学年末試験
第30回	到達度確認と一年間の振り返り

授業計画コメント

ドイツ語圏文化学科(1年次)のみを対象とした科目で、コミュニケーション演習(初級)1、2と同時履修することになっています。共通の教科書を用い、担当者間で内容や進度の確認をしながら進めていきます。

授業方法

主に下記の教科書を用いながら授業を進めます。パートナー練習、グループ練習なども含めて、なるべく多く発言することが求められます。

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

単語帳に挙がっている単語は毎回事前に目を通しておくこと。授業時に出た宿題を必ずやること。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	45 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

教科書の2つの課が終わるごとに小テストを授業中に行います。また、学期末または学年末には口頭試験を行います。そのほか、出席、宿題、授業中の参加姿勢を重視します。評価配分は、あくまで目安です。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

返却時にコメントします。

教科書

- Studio 21 (A1.1): Das Deutschbuch,Cornelsen
- Studio 21 (A1.2): Das Deutschbuch,Cornelsen
- Studio 21 (A1): Vokabeltaschenbuch,Cornelsen
- Studio 21 (A1): Glossar,Cornelsen

教科書コメント

以上のテキストはすべてそろえて必ず購入すること。購入方法は新学期ガイダンス時に指示します。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

原則として1年次に履修すること。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100114	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)14		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	加藤 耕義		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 2時限 西1－208		

授業概要

このクラスはドイツ語圏文化学科1年次の指定クラスです。読解力の養成に重点を置きながら、ネイティブ教員によるコミュニケーション授業と初級文法の授業を連携させることを狙いとします。従って、文法練習や発音に関する練習も行います。ドイツ語B(初級)11もしくは12を合わせて履修することが望ましい。

到達目標

平易な文章を読み、簡単な作文ができるようになること。基本的な表現を使った会話ができ、聞き取りができるようになること。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、アルファベート、あいさつ(1)、ドイツ語の発音(1)
第2回	ドイツ語の発音(2)、数詞、あいさつ(2)等
第3回	「第1課 ベルリンに到着」(1)
第4回	「第1課 ベルリンに到着」(2)、「第2課 パン屋さんで」(1)
第5回	「第2課 パン屋さんで」(2)
第6回	「第3課 語学コース」(1)
第7回	「第3課 語学コース」(2)
第8回	「第4課 学生食堂へ」(1)
第9回	「第4課 学生食堂へ」(2)
第10回	「第5課 お医者さん」(1)
第11回	「第5課 お医者さん」(2)
第12回	「第6課 学生寮で」(1)
第13回	「第6課 学生寮で」(2)
第14回	理解度の確認
第15回	自主研究
第16回	「第7課 ヴァンゼーへ！」(1)
第17回	「第7課 ヴァンゼーへ！」(2)
第18回	「第8課 美容院に行く」(1)
第19回	「第8課 美容院に行く」(2)
第20回	「第9課 ビアガーデンで」(1)
第21回	「第9課 ビアガーデンで」(2)
第22回	「第10課 ブティックで」(1)
第23回	「第10課 ブティックで」(2)
第24回	「第11課 フィリップの誕生日」(1)
第25回	「第11課 フィリップの誕生日」(2)
第26回	「第12課 帰国前」(1)
第27回	「第12課 帰国前」(2)
第28回	「第12課 帰国前」(3)
第29回	理解度の確認
第30回	自主研究

授業方法

各課冒頭の会話文を音読・訳読し、文法の学習、練習問題をやった後、前に戻って会話文をまとめた文章の音読と訳読を行います。
ほぼ毎回小テストを行います。
随時質問を受け付けるので、理解できない点や不明な点があれば、積極的に質問すること。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

次回の授業で扱う箇所の予習と出された宿題は必ずやってくること。(約2時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

答案を返却し、注意点を指摘する。

教科書

ドイツ語の時間<恋するベルリン> Web改訂版 エピローグ付,清野智昭,朝日出版社,初,2019,9784255253930

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100115	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)15		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	狩野 智洋		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 2時限 中央－504		

授業概要

このクラスはドイツ語圏文化学科1年次の指定クラスであり、読解力の養成に重点を置きながら、ネイティブ教員によるコミュニケーション授業と初級文法の授業を連携させることを狙いとする。従って、文法練習や発音に関する練習も行う。ドイツ語B(初級)11もしくは12を合わせて履修することが望ましい。

到達目標

平易な文章を読み、簡単な作文ができるようになる。基本的な表現を使った会話ができ、聞き取りができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、アルファベット、あいさつ(1)、ドイツ語の発音(1)
第2回	ドイツ語の発音(2)、数詞、あいさつ(2)等
第3回	「第1課 ベルリンに到着」(1)
第4回	「第1課 ベルリンに到着」(2)、「第2課 パン屋さんで」(1)
第5回	「第2課 パン屋さんで」(2)
第6回	「第3課 語学コース」(1)
第7回	「第3課 語学コース」(2)
第8回	「第4課 学生食堂へ」(1)
第9回	「第4課 学生食堂へ」(2)
第10回	「第5課 お医者さん」(1)
第11回	「第5課 お医者さん」(2)
第12回	「第6課 学生寮で」(1)
第13回	「第6課 学生寮で」(2)
第14回	理解度の確認
第15回	自主研究
第16回	「第7課 ヴァンゼーへ！」(1)
第17回	「第7課 ヴァンゼーへ！」(2)
第18回	「第8課 美容院に行く」(1)
第19回	「第8課 美容院に行く」(2)
第20回	「第9課 ビアガーデンで」(1)
第21回	「第9課 ビアガーデンで」(2)
第22回	「第10課 ブティックで」(1)
第23回	「第10課 ブティックで」(2)
第24回	「第11課 フィリップの誕生日」(1)
第25回	「第11課 フィリップの誕生日」(2)
第26回	「第12課 帰国前」(1)
第27回	「第12課 帰国前」(2)
第28回	「第12課 帰国前」(3)
第29回	理解度の確認
第30回	自主研究

授業方法

各課冒頭の会話文を音読・訳読し、文法の学習、練習問題をやった後、前に戻って会話文をまとめた文章の音読と訳読を行う(教科書の順番では会話文の直後にまとめの文章が置かれている)。
また、時間の許す限りでドイツの風習などを紹介する写真等も見る予定。随時質問を受け付けるので、理解できない点や不明な点があれば、積極的に質問すること。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

次回の授業で扱う箇所の予習と出された宿題は必ずやってくること。(約2時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

答案を返却し、注意点を指摘する。

教科書

ドイツ語の時間<恋するベルリン> Web改訂版 エピローグ付,清野智昭,朝日出版社,初,2019,9784255253930

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100116	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)16		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	狩野 智洋		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 2時限 中央－506		

授業概要

「読む、聞く、書く、話す」という4技能の基礎を身につけるために、基礎的文法の学習、長文読解、作文、会話練習、聞き取り練習を行う。

到達目標

平易な文章を読み、簡単な作文ができるようになる。基本的な表現を使った日常会話ができ、聞き取りができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、アルファベット、あいさつ(1)、ドイツ語の発音(1)
第2回	ドイツ語の発音(2)、数詞、あいさつ(2)等
第3回	「第1課 ベルリンに到着」(1)
第4回	「第1課 ベルリンに到着」(2)
第5回	「第2課 パン屋さんで」(1)
第6回	「第2課 パン屋さんで」(2)
第7回	「第3課 語学コース」(1)
第8回	「第3課 語学コース」(2)
第9回	「第4課 学生食堂へ」(1)
第10回	「第4課 学生食堂へ」(2)
第11回	「第5課 お医者さん」(1)
第12回	「第5課 お医者さん」(2)
第13回	「第5課 お医者さん」(3)
第14回	理解度の確認
第15回	自主研究
第16回	「第6課 学生寮で」(1)
第17回	「第6課 学生寮で」(2)
第18回	「第7課 ヴァンゼーへ！」(1)
第19回	「第7課 ヴァンゼーへ！」(2)
第20回	「第8課 美容院に行く」(1)
第21回	「第8課 美容院に行く」(2)
第22回	「第9課 ビアガーデンで」(1)
第23回	「第9課 ビアガーデンで」(2)
第24回	「第10課 ブティックで」(1)
第25回	「第10課 ブティックで」(2)
第26回	「第11課 フィリップの誕生日」(1)
第27回	「第11課 フィリップの誕生日」(2)
第28回	「第11課 フィリップの誕生日」(3)
第29回	理解度の確認
第30回	自主研究

授業計画コメント

接続法(第12課)は1年次では扱わないことになっているので、授業は第1課から第11課までとなる。

授業方法

使用する教材は、ドイツでの生活や社会的・文化的慣習等を紹介しつつ、ドイツ語が身につくよう工夫された教科書を用いる。各課冒頭の会話文を音読・訳読し、文法の学習、練習問題をやった後、前に戻って会話文をまとめた文章の音読と訳読を行う(教科書の順番では会話文の直後にまとめの文章が置かれている)。

また、ドイツの風習などを紹介する写真等も見ると予定。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

次回の授業で扱う箇所の予習と出された宿題は必ずやってくること。(約2時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	30 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	10 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

答案を返却し、注意点を指摘する。

教科書

ドイツ語の時間<恋するベルリン>Web改訂版 エピローグ付
Web改訂版,清野智昭,朝日出版社,初版 初版,2019 ,9784255253930

参考文献

クラウン 独和辞典,三省堂
フロイデ 独和辞典,白水社
新アポロン 独和辞典,同学社
アクセス 独和辞典,三修社
プログレッシブ 独和辞典,小学館

参考文献コメント

上記は初級から中級向けの辞書であるが、中・上級向けの辞書として『独和辞典』(郁文堂)、『独和大辞典』(小学館)がある。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

1年間で予定した内容を終えるためには受講者の協力は欠かせないので、予習と宿題は必ずやってくること。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100117	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)17		
副題	基礎的なコミュニケーション能力		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	中出 正郎		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 2時限 西1-104		

授業概要

この授業は、会話に必要な文法項目を学びながら、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力を養うためのものです。簡単な練習問題を多く行うことで、自然にドイツ語の基礎的な表現が身につくようにしていきます。文法項目については、「現在人称変化～現在完了形」までを、よく分かるようにゆっくりと学習していきます。また、テキストに従ってドイツ事情にも触れ、ドイツについての知識が深まるようにしたいと思います。

到達目標

ドイツ旅行をして、買い物ができるくらいの、ドイツ語についての基礎的な会話力が身につきます。ドイツ語を学ぶことを通して、ヨーロッパの盟主であるドイツについての知識が深まるようになります。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション(授業内容や進め方などについて話をする)
第2回	発音の練習(アルファベット+母音)
第3回	発音の練習(子音)
第4回	挨拶をしてみよう！
第5回	「～するのが好きだ」の言い方 (飲み物・スポーツ)
第6回	自己紹介をしてみよう！
第7回	「それは何ですか？」「それは一つの～です」の言い方 (不定冠詞の使い方)
第8回	「それは一つの～ですか？」「いいえ、これは～ではありません」の言い方 (否定冠詞の使い方)
第9回	20までの数字を発音し、暗記する
第10回	3桁の数字を書く練習(聞き取り練習を含む)
第11回	「わたしは～を買います」「わたしは～を持っていません」の言い方 (不定冠詞・否定冠詞の直接目的語の形)
第12回	「君はどうしてその～を買わないの？」「それは高すぎる」の言い方 (定冠詞の直接目的語の形と3人称の代名詞)
第13回	メニューを見て、注文してみよう！
第14回	「これは君の～ですか？」「はい、それはわたしの～です」の言い方 (所有冠詞の使い方)
第15回	第1学期のまとめ
第16回	「あなたはリンゴを1個買いますか、それとも2個買いますか？」の言い方 (複数形の作り方)
第17回	「～の」「～に」の言い方 (所有格と間接目的格の形)
第18回	前置詞の使い方
第19回	「～で」「～へ」を表す前置詞の使い分け (an,auf,bei,in,zu)
第20回	時刻の言い方(12時間制)
第21回	分離動詞(2つの部分に分かれる動詞)を用いての表現練習 (aufstehen,fernsehen)
第22回	週末の予定を尋ねてみよう！
第23回	クイズ(語群からドイツ語の単語を見つける)
第24回	「～したい」「～するつもりだ」の言い方 (助動詞を用いての表現練習)
第25回	3基本形(不定詞・過去基本形・過去分詞)の作り方
第26回	3基本形についての補充の練習問題(30題)
第27回	現在完了形の2つのタイプ
第28回	(hatte+過去分詞)の現在完了形を用いての表現練習 「あなたは日曜日に何をなさいましたか？」などの言い方
第29回	(sein+過去分詞)の現在完了形を用いての表現練習 「ハンスはもう帰宅しましたか？」などの言い方
第30回	第2学期のまとめ

授業計画コメント

各学期に2回くらいミニテストを行います。必要に応じ補充の練習問題を行うこともあります。

授業方法

演習形式

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

外国語の学習では予習と復習が欠かせません。復習に30分、予習に1時間以上の時間が必要です。予習内容についてはその都度、授業時に指示します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	25 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):15%・第1学期(学期末試験):30%・第2学期(学年末試験):30%・小テスト:25%。平常点、ミニテスト、学期末試験の3つを総合的に評価します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

小テストや学期末試験の答えは返却し、授業内で解説を行います。

教科書

話すぞドイツ語! V2新版,在間進,朝日出版社/Asahi Press,2008,9784255253176

教科書コメント

『話すぞドイツ語!』はとても分かりやすい、会話用の教科書です。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

特別の理由なく、各学期で5回以上欠席した場合は、まとめの試験は受けられませんので、注意してください。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100118	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)18		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	岡田 啓美		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 2時限 西1－206		

授業概要

日本で生活する大学生、特に理系学生のみなさんになじみのあるテーマを扱ったやさしいドイツ語の文章を読み、練習問題をこなすことによって、初級ドイツ語の発音、文法の定着を目指し、会話力を養成する。同時にビデオ上映などを交えて、ドイツおよびドイツ語圏の国々についての理解も深めたい。

到達目標

ドイツ語の基本構造、発音を学び、辞書の助けを借りてドイツ語でコミュニケーションを取れるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ドイツについて (DVD鑑賞)、辞書の紹介、アルファベット
第2回	アルファベット、発音の基本、DVD鑑賞
第3回	発音練習、数詞、ドイツ語のあいさつ、
第4回	『健康』、動詞の現在人称変化、DVD鑑賞
第5回	テキスト講読、自己紹介
第6回	『ネスレ』、名詞の性と冠詞
第7回	テキスト購読、DVD鑑賞、
第8回	『ロボット』、名詞の性と格変化、複数形
第9回	テキスト購読、DVD鑑賞 (ベルリン)
第10回	不規則動詞
第11回	テキスト購読
第12回	『ジャガイモ』、冠詞類、テキスト購読
第13回	第1学期の総まとめ、DVD観賞
第14回	理解度の確認
第15回	予備日
第16回	学期末試験返却、第1学期の復習、DVD観賞 (オクトーバーフェスト)
第17回	『歯磨き』、人称代名詞。再起動詞
第18回	テキスト購読、DVD鑑賞 (ドイツ再統一)
第19回	『ツァイス』、複合動詞、従属接続詞
第20回	テキスト購読
第21回	『赤ちゃんポスト』、話法の助動詞
第22回	テキスト購読、DVD鑑賞 (ベルリンの壁崩壊)
第23回	『ビール』、動詞の三基本形、現在完了形
第24回	テキスト購読
第25回	『エニグマ』、過去形、zu不定詞
第26回	テキスト購読
第27回	形容詞
第28回	第2学期のまとめ。ドイツのクリスマスについて (DVD・CD観賞他)
第29回	理解度の確認
第30回	予備日

授業方法

テキストの購読、練習問題を学生諸君にやってもらうとともに、会話のペア練習も随時行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回、次回授業で学生諸君にやってもらう練習問題や課題を指示するので、指示された範囲はきちんと答えられるように準備していくこと。

成績評価の方法・基準

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート	10 %	
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):30% 第1学期(学期末試験):30% 第2学期(学年末試験):30% 小テスト、提出課題等は履修人数、進度によって実施の有無・回数が変わってきますが、これらは平常点として評価します。レポート:10%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

前期試験は後期初回授業時に返却し、前期の復習に活用します。レポート(夏休みの課題)は後期授業中に返却・解説を行います。

教科書

身近なドイツ語 ― 話したくなる10のトピック,木戸沙織,朝日出版,第1,2020,9784255254289

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100119	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)19		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	木村 裕一		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 2時限 西1－105		

授業概要

この授業ではドイツ語を初めて学ぶ人を対象に、簡単な会話表現やDVD教材を用いた聞き取り、発音の練習をしていきます。また、使用するDVD教材にはドイツの日常風景がテーマごとに収録されており、語学学習と同時にドイツ語圏の文化や社会について関心をもってもらうことも目的としています。少しでも第二外国語学習のモチベーションを高めてもらうために、できるだけ無理なく楽しく授業していきたいと思います。

到達目標

- ・ドイツ語の発音規則を理解し、つづりを見て正しく発音できるようになること
- ・短い会話を聞き取り、スペルを正しく書き取ることができるようになること
- ・1～2分程度の簡単な自己紹介(名前、出身、趣味など)が、ドイツ語でできるようになること

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス、ドイツ語発音の基本的な規則、辞書の紹介など
第2回	Lektion 1 Markt (1)
第3回	Lektion 1 Markt (2)
第4回	Lektion 2 Bier und Wein (1)
第5回	Lektion 2 Bier und Wein (2)
第6回	Lektion 3 Drinnen und draussen (1)
第7回	Lektion 3 Drinnen und draussen (2)
第8回	Lektion 4 Sehenswuerdigkeiten (1)
第9回	Lektion 4 Sehenswuerdigkeiten (2)
第10回	Lektion 5 In der Stadt (1)
第11回	Lektion 5 In der Stadt (2)
第12回	Lektion 6 Alte Staedte (1)
第13回	Lektion 6 Alte Staedte (2)
第14回	理解度の確認
第15回	予備日
第16回	Lektion 7 Brot (1)
第17回	Lektion 7 Brot (2)
第18回	Lektion 8 Fussball (1)
第19回	Lektion 8 Fussball (2)
第20回	Lektion 9 Berlin (1)
第21回	Lektion 9 Berlin (2)
第22回	Lektion 10 Kulturvielfalt (1)
第23回	Lektion 10 Kulturvielfalt (2)
第24回	Lektion 11 Weihnachten (1)
第25回	Lektion 11 Weihnachten (2)
第26回	Lektion 12 Umwelt (1)
第27回	Lektion 12 Umwelt (2)
第28回	ドイツ語自己紹介練習
第29回	理解度の確認
第30回	予備日

授業方法

ペアワークやグループワークを中心に、発音に重点を置いた練習を行います。
また、映像教材や音声教材などにより、簡単なドイツ語を聞き取れるように練習します。
各Lektion終了時に、聞き取りや会話を主とした小テストを行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

小テスト準備(30分)、宿題(30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)		
中間テスト		
レポート		
小テスト	70 %	各課の区切りごとに隔週で小テストを実施
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)		
その他(備考欄を参照)	30 %	ドイツ語での口述試験

成績評価コメント

各課の区切りごとに隔週で小テストを実施し、主な評価対象とします。
それに加え、学期末に口述試験を行い、授業で扱ったテーマについてドイツ語で出来る限りしゃべってもらいます。
全授業回数の3分の1以上欠席した学生は、履修意思がないものとみなします。
10分以上の遅刻は、理由にかかわらず3回で1回分の欠席とみなします。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

グループワーク中心の授業なので、適宜コメントや指導を行います。

教科書

ドイツ・サラダ[DVD付],保阪良子,朝日出版社,2010,9784255253336

参考文献コメント

ドイツ語辞書は必ず購入・持参すること。
辞書の選び方については、開講時に説明します。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100120	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)20		
副題	自己表現のためのドイツ語		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	鎌倉 澄		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 月曜日 2時限 中央－505		

授業概要

初学者を対象とする授業です。日常に起こりうる様々なシチュエーションでコミュニケーションができるよう、話す、書く、聞く、読む能力を総合的に養成します。文法はコミュニケーションに必要と思われるものを随時確認しますが、原則として他に文法の授業を受講してください。ドイツ語学習を通して、自分自身の世界を広げましょう。

到達目標

自分と自分の身の回りのことについてドイツ語で表現できるようになる。身近な話題について、他の人と対話ができるようになる。ドイツ語で書かれた比較的平易な文章を読み、理解することができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	導入①:ドイツ語とドイツ語圏、挨拶、授業で使う表現
第2回	第1課:自己紹介と相手の情報を尋ねる文(1人称、2人称、疑問詞)
第3回	第1課:飲み物の注文、好きな飲み物(応用表現)
第4回	小テスト、復習(練習を通して更なる定着を図ります) 第1課:人と知り合う①
第5回	第1課:人と知り合う②(疑問文と答え方、応用練習)
第6回	小テスト、復習 第2課:挨拶、親しい間柄の人との会話①(2人称親称)
第7回	第2課:親しい間柄の人との会話②、数(不規則動詞)
第8回	第2課:第3者の紹介(3人称、不定詞句から文を作る)
第9回	小テスト、復習 第3課:身近なものの名称(名詞、名詞の性)
第10回	第3課:私の部屋(名詞の1格と4格)
第11回	第3課:行き先表現
第12回	小テスト、復習 時刻の表現 第4課:助動詞を使った文①(したいこと、しなければならないこと)
第13回	第4課:助動詞を使った文②(していいこと、してはいけないこと)
第14回	第1学期理解度の確認
第15回	自主研究
第16回	夏期課題発表 第5課:不定詞句から文を作る
第17回	第5課:一週間のスケジュール(曜日、分離動詞)
第18回	第5課:身近なものに対する意見(形容詞、人称代名詞4格)
第19回	第6課:待ち合わせの場所(前置詞)
第20回	第6課:ピクニックへの持ち物(名詞の複数形)
第21回	小テスト、復習 第7課:コンパの後で(現在完了)
第22回	第7課:昨日の出来事(現在完了練習)
第23回	第8課:クリスマス(読解)、プレゼントを贈る(3格と4格)
第24回	小テスト、復習 第9課:大晦日の晩(読解)
第25回	第9課:大晦日と新年(受動態)
第26回	第10課:休暇と旅行(副文)
第27回	第11課:お別れパーティー(過去形)
第28回	第12課:願望(接続法)
第29回	第2学期理解度の確認
第30回	振り返り

授業計画コメント

上記授業計画はあくまで予定です。参加者の状況によって、進度・内容共に変更することがあります。

授業方法

グループワーク、ペアワーク中心に、ドイツ語を使いながら覚えていきます。個人やグループでの発表も毎回あります。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回必ず復習を行ってください。出てきたフレーズを声に出してみたり、実際に使ってみたり、また自分の状況を当てはめて言い換えたり(書き換えたり)してみましょう。発音が心配ならCDを聞いて確認しましょう。指示された課題は、30分以内でこなせる内容ですので、授業前までに必ずやっておいてください。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト	10 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	30 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

授業への参加度、課題への取り組み状況、小テストの結果を点数化して平常点とします。

学年末、学期末の試験(課題)には、個人発表・グループ発表が含まれます。

全授業回数の3分の1以上欠席した場合には成績評価はしません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

課題、および試験については、授業内、または学習プラットフォームMoodleを利用してフィードバックします。

教科書

自己表現のためのドイツ語1<プラス>,板山真由美、塩路ウルズラ、元河裕子、吉満たか子,三修社,2020,978-4-384-12303-6 C1084

参考文献コメント

授業中に指示します。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

学習プラットフォーム「Moodle」を利用します。大学のネットワークにログインできるよう、アカウントを取得しておいてください。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100121	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)21		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	内堀 淳志		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 土曜日 2時限 西1－210		

授業概要

会話形式で練習して、ドイツ語の表現を習得する。

到達目標

発話・聞き取り練習によりドイツ語運用能力の基礎を身に付け、簡単な会話ができるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス ドイツ語の単語の発音について(1)
第2回	ドイツ語の単語の発音について(2)
第3回	ドイツ語で挨拶をし、初対面の人と話す練習(1)
第4回	ドイツ語で挨拶をし、初対面の人と話す練習(2)
第5回	ドイツ語で挨拶をし、初対面の人と話す練習(3) 自分や他人の紹介をする練習(1)
第6回	自分や他人の紹介をする練習(2)
第7回	自分や他人の紹介をする練習(3) 自分の持ち物について話す練習(1)
第8回	自分の持ち物について話す練習(2)
第9回	自分の持ち物について話す練習(3) 買い物をする際に用いる表現の練習、レストランでの注文・会計の練習(1)
第10回	買い物をする際に用いる表現の練習、レストランでの注文・会計の練習(2)
第11回	買い物をする際に用いる表現の練習、レストランでの注文・会計の練習(3) 家族のことを紹介する練習(1)
第12回	家族のことを紹介する練習(2)
第13回	家族のことを紹介する練習(3) 文法事項の確認練習
第14回	全体を確認する練習
第15回	まとめ
第16回	自分の好きなことについて話す練習(1)
第17回	自分の好きなことについて話す練習(2)
第18回	自分の好きなことについて話す練習(3) 衣服や身の回りの品物について話す練習(1)
第19回	衣服や身の回りの品物について話す練習(2)
第20回	衣服や身の回りの品物について話す練習(3) 位置関係を説明する練習、道案内をする練習(1)
第21回	位置関係を説明する練習、道案内をする練習(2)
第22回	時刻の表現練習 休暇について話す練習(1)
第23回	休暇について話す練習(2)
第24回	休暇について話す練習(3) 体にかかわること、体調について話す練習(1)
第25回	体にかかわること、体調について話す練習(2)
第26回	体にかかわること、体調について話す練習(3) 過去の出来事を話す練習(1)
第27回	過去の出来事を話す練習(2)
第28回	過去の出来事を話す練習(3) 文法事項の確認練習
第29回	全体を確認する練習
第30回	まとめ

授業方法

グループワークならびに講義

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

事前に教科書の該当箇所を目を通し、練習内容を確認しておくこと(約1時間)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	25 %	
学年末試験(第2学期)	25 %	
中間テスト	20 %	
レポート		
小テスト	15 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点では、グループワーク、課題提出がポイントとなる。進度に応じ、中間テスト、小テストを行う。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

提出された課題、学期末試験の答案は解説を加えて、返却する。

教科書

クラッセ！ ノイ 初級ドイツ語総合読本(CD付),谷澤優子、白木和美、ガブリエラ・シュミット,白水社,2018,9784560064214

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

独和辞典が必要となる。 初学者向きとして以下の辞書が提示され得る。
『クラウン独和辞典』三省堂、『アポロン独和辞典』同学社、『アクセス独和辞典』三修社

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100122	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)22		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	松島 渉		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 土曜日 2時限 西1－209		

授業概要

ドイツ語初学者のための授業です。ドイツ語の会話表現を身につけることを目標とします。基本的な文法もおさえつつ、日常的な表現を覚えていきましょう。

到達目標

ドイツ語の基本的な会話表現を学び、活用できるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	履修者の決定、授業の進行についてのガイダンス、ドイツ語の文字や発音についての簡単な説明を行います。
第2回	Lektion 1 挨拶、自己紹介
第3回	Lektion 1 人称変化
第4回	Lektion 2 専攻、職業、国籍
第5回	Lektion 2 人称変化3人称
第6回	Lektion 3 持ち物、数詞
第7回	Lektion 3 冠詞類
第8回	Lektion 4 食べ物、飲み物
第9回	Lektion 4 冠詞類4格
第10回	Lektion 5 家族
第11回	Lektion 5 所有冠詞、人称代名詞
第12回	Lektion 6 趣味、動詞
第13回	Lektion 6 不規則変化動詞、命令形
第14回	理解度の確認
第15回	予備日
第16回	既習事項の復習
第17回	Lektion 7 休暇
第18回	Lektion 7 話法の助動詞
第19回	Lektion 8 服装、贈り物
第20回	Lektion 8 3格を使った表現
第21回	Lektion 9 建物、街
第22回	Lektion 9 前置詞を使った表現
第23回	Lektion 10 1日の行動、時刻
第24回	Lektion 10 分離動詞、zu不定詞、再帰代名詞
第25回	Lektion 11 身体、病気
第26回	Lektion 11 過去形、現在完了形
第27回	Lektion 12 天候
第28回	Lektion 12 従属接続詞、比較級・最上級
第29回	理解度の確認
第30回	予備日

授業計画コメント

受講者の理解度によって実施回は前後することがあります。

授業方法

授業ではパートナー練習や音声メディアを使ったヒアリング等を行います。原則として予習は必要ありませんが、その分受講者には集中して授業を受けることが求められます。コミュニケーション能力は語学力だけによるものではありません。積極的に授業に参加しましょう。

授業内容に関する質問はできるだけ授業時間内にするようにしましょう。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

復習として授業内で練習した会話表現を、最低1回は実際に声に出して発音してください。また、教科書内の問題を復習の課題として指定することがあります。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	35 %	
学年末試験(第2学期)	35 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	15 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	15 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

教科書で学習した事項が試験・小テストで出題されます。
授業内の会話練習に対してあまりにも消極的な態度が見られた場合は平常点が減点されます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験は模範解答を配布します。質問には個別に応じます。

教科書

ゲナウ！コミュニケーションのドイツ語 ノイ,新倉真矢子, 亀ヶ谷昌秀, 正木晶子, 中野有希子,第三書房,初版,2015,978-4-8086-1190-3

参考文献

アクセス独和辞典,在間進,三修社,第3版,2010,978-4-384-01234-9
クラウン独和辞典,濱川祥枝, 信岡資生, 新田春夫,三省堂,第5版,2014,978-4-385-12011-9

参考文献コメント

外国語学習に辞書は必須です。自学自習のためにも必要です。特に指定はしませんが必ず辞書は購入しましょう。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821100123	科目ナンバリング	002D122
講義名	ドイツ語C(初級)23		
英文科目名	German (Elementary Course; Communication)		
担当者名	GOESSNER, Gesine		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 2時限 西1－302		

授業概要

ドイツ語の日常会話の習得を目指します。
ドイツに行ったときや、日本でドイツ人と話すときに役立つ練習を楽しく行います。

到達目標

初めてドイツ語を習う学生を対象にしていますので、予備知識は必要ありません。聞いたり話したりする力が自然と身につき、ドイツ語が少しずつ使えるようになります。

授業内容

実施回	内容
第1回	挨拶
第2回	自己紹介
第3回	アルファベート、電話すること
第4回	家族について 1
第5回	家族について 2
第6回	食べ物, 飲み物 1
第7回	食べ物, 飲み物 2
第8回	復習A
第9回	0から100まで
第10回	買い物の会話
第11回	復習B
第12回	住んでいる所について1
第13回	住んでいる所について2
第14回	復習C
第15回	グループ会話 (テスト)
第16回	毎日のことにつて1
第17回	毎日のことについて2
第18回	色
第19回	100から100万まで
第20回	復習D
第21回	レジャーの時間について1
第22回	レジャーの時間について 2
第23回	学生のせいがつについて
第24回	復習E
第25回	グループ会話
第26回	勉強のことについて1
第27回	勉強のことについて2
第28回	復習F
第29回	復習A-F
第30回	グループ会話 (テスト)

授業方法

コミュニケーション指向。グループワークが重要です。

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

新しことを覚えてほしい。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

レッスンで結果について話します。

教科書

Schritte international neu 1,Daniela Huber,Huber,2016,978-3-19-301082-7

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821101101	科目ナンバリング	002D222
講義名	ドイツ語C(中級)1		
英文科目名	German (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	BRIEL, Rita		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 4時限 西1－211		

授業概要

Bisher Gelerntes verfestigen und vertiefen. Deutsch verstehen und sprechen lernen. Deutsche Alltagskultur kennen und verstehen lernen.

到達目標

After completing the course you will have the necessary skills to understand, talk, and read German on an intermediate level. Topics are e. g. work, traveling to a foreign country, body and health, shopping, fashion, holidays.

授業内容

実施回	内容
第1回	授業の説明、自己紹介、文法の復習（特に動詞、代名詞、冠詞）
第2回	第1課Beruf und Arbeit 教科書の説明、単語のリスト、sein, heisenの過去形
第3回	復習15分 第1課 前置詞（時間）、練習
第4回	復習15分 第1課 前置詞, Beruf und Arbeitについてのテキスト
第5回	復習15分 第2課In einer fremden Stadt、単語のリスト、語法の助動詞
第6回	復習15分 第2課ホテルでの会話、Touristeninformation、代名詞man、練習
第7回	テスト
第8回	復習15分 第10課Gesundheit、単語のリスト、 所有冠詞,手紙を書く
第9回	復習15分 第10課 医者での期日を決める、体の部分 練習
第10回	復習15分、第11課 In der Stadt unterwegs, 単語のリスト、地図を読む、前置詞（場所、方向）、道の案内
第11回	復習15分、第11課、前置詞の練習
第12回	復習15分、第11課、前置詞の練習、
第13回	復習15分、教科書のエキストラページを読む
第14回	復習15分、第10, 11課、練習
第15回	テスト第10、11課
第16回	第12課Der Kunde ist Konig,前置詞（時間）、敬語
第17回	復習15分 第12課、分離動詞、買い物の会話
第18回	復習15分 第12課の練習
第19回	復習15分 第13課Mode、単語のリスト、gefallen, 疑問代名詞
第20回	復習15分 第13課 3格の人称代名詞、3格を取る動詞
第21回	復習15分 第13課 練習
第22回	テスト 第12, 13課
第23回	第13課,形容詞の比較級、指示代名詞
第24回	復習15分、第13課練習
第25回	復習15分、第14課Feste、単語のリスト、序数、接続語denn, 動詞werden
第26回	復習15分、第14課、日付の練習,4格の代名詞
第27回	復習15分、第14課、練習、映画前半
第28回	復習15分、映画後半
第29回	復習第13, 14, 15課
第30回	テスト

授業方法

教科書読みながら練習をします。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

Please attend regularly, always bring the textbook, prepare for the tests diligently, hand in homework, if given, in time.

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分 (%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト	20 %	
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):20% 中間テスト:20% 第1学期(学期末試験):30% 第2学期(学年末試験):30% 大テストを2度、小さな単語テストを何度か行う。60点をとることが合格の基準となる。きちんと出席し、授業に積極的に参加してほしい。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験を行ったあとに学生に採点した試験を返します。

教科書

Schritte international Neu 2 Kursbuch + Arbeitsbuch + CD zum Arbeitsbuch: Schritte international,D. Niebisch et. al.,Hueber Verlag,newest版,978-3-19-601082-4

教科書コメント

Please buy the textbook as soon as possible.

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

特になし

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821101102	科目ナンバリング	002D222
講義名	ドイツ語C(中級)2		
英文科目名	German (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	KERN, Daniel		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 1時限 西1－303		

授業概要

初級で学んだドイツ語をもとに、さらにドイツ語の日常会話の習得を目指します。実際にドイツに行ったときや、日本でドイツ人と話すときに役立つ練習を楽しく行います。恥ずかしがらずに、元気に楽しく積極的に授業に参加していると、聞いたり話したりする力が自然と身につく、ドイツ語が少しずつ使えるようになります。教科書は、実践的でカラフルで楽しく学べる工夫がされています。会話力を身につけたい、いつかドイツに行ってみたいという目標をもっている人に向いているクラスです。

到達目標

日常生活での基本的な表現を理解し、ごく簡単なやりとりができることを目標とします。

授業内容

実施回	内容
第1回	仕事について話す
第2回	過去と現在についての情報交換、過去の行動についての報告
第3回	広告を読む
第4回	指示をする
第5回	アドバイスをする
第6回	許可されていることと禁止されていることについて話す
第7回	情報誌を理解する、ホテルの受付での会話
第8回	体の部分
第9回	外見を描写する
第10回	手紙を書く
第11回	会う約束をする
第12回	道を尋ねる
第13回	場所を指示する
第14回	理解度の確認
第15回	自主研究
第16回	場所と方向を規定する
第17回	時刻表とアナウンスを理解する、駅で情報を求める
第18回	日付を理解する、言う
第19回	サービスを頼む
第20回	丁寧な依頼
第21回	電話のアナウンスを理解する
第22回	洋服、満足と不満を言い表す
第23回	好みと評価を言い表す
第24回	デパートでの会話
第25回	日付を尋ねる、言う
第26回	人や物について話す
第27回	理由を述べる
第28回	お祝いを述べる
第29回	理解度の確認
第30回	自主研究

授業方法

教科書に沿って進めていきます。生のドイツ語を聞きながら、会話の練習をたくさんします。積極的にドイツ語で話しましょう。ペア練習、グループ練習も行います。

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

その週に習ったことを毎日くり返して復習してきてください。宿題は適宜出します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):40% 第1学期(学期末試験):30% 第2学期(学年末試験):30% 授業の3分の1以上欠席した場合には成績評価しません。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験に関するフィードバックは実施後行います。

教科書

Schritte international Neu 2 Kursbuch + Arbeitsbuch + CD zum Arbeitsbuch,Daniela Niebisch,Hueber,978-3-19-601082-4

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821101103	科目ナンバリング	002D222
講義名	ドイツ語C(中級)3		
英文科目名	German (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	GOESSNER, Gesine		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 3時限 西1－302		

授業概要

初級で学んだドイツ語をもとに、さらにドイツ語の日常会話の習得を目指します。実際にドイツに行ったときや、日本でドイツ人と話すときに役立つ練習を楽しく行います。

到達目標

実際にドイツに行ったときや、日本でドイツ人と話すときに役立つ練習を楽しく行います。恥ずかしがらずに、元気に楽しく積極的に授業に参加していると、聞いたり話したりする力が自然と身につく、ドイツ語が少しずつ使えるようになります。教科書は、実践的でカ
ラフルで楽しく学べる工夫がされています。会話力を身につけたい、いつかドイツに行ってみたいという目標をもっている人に向い
ているクラスです。

授業内容

実施回	内容
第1回	Einführung/Vorstellung はじめに / 自己紹介
第2回	Beruf und Arbeit 1/ 職業と仕事 1
第3回	Beruf und Arbeit 2/ 職業と仕事 2
第4回	Unterwegs 1/ 旅行する 1
第5回	Unterwegs 2 / 旅行する 2
第6回	Wiederholung A / 繰り返し A
第7回	Gesundheit und Krankheit 1 / 健康と病気 1
第8回	Gesundheit und Krankheit 2 / 健康と病気 2
第9回	Wiederholung B / 繰り返しB
第10回	In der Stadt 1 / 街で 1
第11回	In der Stadt 2 / 街で 2
第12回	Wiederholung C / 繰り返し C
第13回	Wiederholung A/B/C / 繰り返し A/B/C
第14回	Freies Sprechen / free speech
第15回	グループ会話 (テスト)
第16回	Wie waren die Ferien? / 休暇はどうでしたか_?
第17回	Kundenservice 1 / 顧客サービス 1
第18回	Kundenservice 2 / 顧客サービス 2
第19回	Wiederholung D / 繰り返しD
第20回	Neue Kleider 1 / 新しい服 1
第21回	Neue Kleider 2 / 新しい服 2
第22回	Wiederholung E / 繰り返し E
第23回	Feste 1 / お祝い 1
第24回	Feste 2 / お祝い 2
第25回	Wiederholung F /繰り返し F
第26回	Feste in Japan / 日本の祭
第27回	Wiederholung D/E/F / 繰り返し D/E/F
第28回	Freies Sprechen / free speech
第29回	Kurze Präsentation (Gruppe) /プレゼンテーション (グループ)
第30回	Mündliche Prüfung (Gruppe) / グループ会話 (テスト)

授業方法

Kommunikativ-orientiert.

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

Wiederholung des Unterrichts.

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

Ergebnisse werden im Unterricht besprochen.

教科書

Schritte international neu 2,Daniela Niebisch,Huber,2016,978-3-19-601082-4

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821101104	科目ナンバリング	002D222
講義名	ドイツ語C(中級)4		
英文科目名	German (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	MCCOY, David Henry		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 金曜日 2時限 西1－105		

授業概要

初級で学んだドイツ語をもとに、さらに実践的な日常会話の習得を目指していきます。昨年度の私のC(初級)の授業「ドイツ語を話そう！1」の既習者でなくとも、ドイツ語の初級知識がある人であれば誰でも大歓迎です。間違えを恐れず、楽しく積極的にドイツ語を話すことで、初級で学んできたことが実際に「使える！」と実感できるようになるはずです。実際にドイツに訪れたり、日本でドイツ人と話すときに様々なことを表現できるよう、日常会話の中で役立つ練習を楽しく行います。ドイツの文化にも触れられるよう、授業中にドイツの音楽、映画、歴史について紹介します。またドイツ語でEメールを書く練習などもします。教科書は、実践的でカラフルで楽しく学べる工夫がされています。会話力を身につけたい、いつかドイツに行ってみたいという目標をもっている人に向いているクラスです。

到達目標

この授業を1年受講すると、おおよそ以下のことがドイツ語で出来るようになります。 1)日常生活の場面での簡単な質問や指示、短い会話を理解することができる 2)短い伝達事項や掲示、広告などから、自分にとって重要な情報を取り出すことができる 3)数字や量、時間や値段を言ったり、理解したりすることができる 4)簡単なものであれば、所定の用紙に記入することができる 5)短い個人的な文章を書くことができる 6)会話で自己紹介をしたり、質問に答えたりすることができる 7)身近な状況で質問やお願いをしたり、それらに反応したりすることができる

授業内容

実施回	内容
第1回	イントロダクション
第2回	Lektion 8 職業と仕事
第3回	〃
第4回	〃
第5回	Lektion 9 知らない街で
第6回	〃
第7回	〃
第8回	Lektion10 健康と体
第9回	〃
第10回	〃
第11回	Lektion 11 道案内
第12回	〃
第13回	〃
第14回	まとめ
第15回	予備日
第16回	第1学期の復習
第17回	Lektion 12 お客様は神様
第18回	〃
第19回	〃
第20回	〃
第21回	Lektion 13 新しい洋服
第22回	〃
第23回	〃
第24回	〃
第25回	Lektion 14 パーティー、お祭り
第26回	〃
第27回	〃
第28回	〃
第29回	まとめ
第30回	予備日

授業計画コメント

教科書に沿って進めていきます。生のドイツ語を聞きながら、会話の練習をたくさんします。積極的にドイツ語で話してみましょう。

授業方法

Lecture, Speaking Drills, E-Learning

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

授業の復習や宿題(約30分)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

平常点(クラス参加、グループ作業の成果等):40% 第2学期(学年末試験):40% 小テスト:20%

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

E-Learning System

教科書

Schritte International NEU 2 (Kursbuch + Arbeitsbuch),Daniela Niebisch,hueber,2016,978-3-19-601082-4

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821101105	科目ナンバリング	002D222
講義名	ドイツ語C(中級)5		
英文科目名	German (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	平井 敏雄		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 3時限 西1－210		

授業概要

この授業はドイツ語圏文化学科2年次指定クラスです。初級で習得した文法事項を復習しながら、構文・語順・語の用法などを扱う中級文法へとステップアップし、ドイツ語による、より自在な表現力を身につけていきます。同時に、ドイツ語という言語に対する興味・理解を深めていくことをも目指します。

到達目標

中級程度のドイツ語文法事項の習得、ならびに、ドイツ語による表現力・作文能力の向上を目指します。

授業内容

実施回	内容
第1回	はじめに・既習事項のチェック
第2回	接続法第1式
第3回	接続法第2式
第4回	練習問題
第5回	語順の考え方
第6回	練習問題
第7回	否定の仕方
第8回	練習問題
第9回	従属文
第10回	関係文
第11回	練習問題
第12回	zu不定詞句の使い方
第13回	練習問題
第14回	理解度の確認
第15回	予備日
第16回	受動態
第17回	練習問題
第18回	再帰動詞
第19回	練習問題
第20回	動詞や形容詞と特定の前置詞の組み合わせ、など
第21回	練習問題
第22回	形容詞の名詞化
第23回	練習問題
第24回	分詞の用法・冠飾句
第25回	練習問題
第26回	冠詞の使い方
第27回	練習問題
第28回	機能動詞構造
第29回	練習問題
第30回	理解度の確認

授業方法

受講者が課題に対し解答し、それに解説を加える形で進めます。

準備学習(予習・復習)

教材に説明されている文法事項に目を通し、ドイツ語の例文を読み、作文その他の課題の解答を考えてきて下さい。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
------	---------	----

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業中に説明します。

教科書コメント

教材はプリントを使用します。 初級で使った文法の教科書と辞書は必ず毎回持参して下さい。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821101106	科目ナンバリング	002D222
講義名	ドイツ語C(中級)6		
副題	ドイツ語中級文法・作文		
英文科目名	German (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	松島 渉		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 1時限 西1－107		

授業概要

この授業はドイツ語圏文化学科2年次指定クラスです。
 1年次に学習した初級文法を確認し、さらに初級では深く追えなかった一歩進んだ文法・表現を学習します。復習にせよ新たに学ぶにせよ、どんな文法事項も自分自身がドイツ語で表現したり、ドイツ語の文を読んだりするときに実際に使えるかどうか重要です。

到達目標

ドイツ語文法への理解を深め、読解・作文に生かせるようになる。

授業内容

実施回	内容
第1回	時制、文
第2回	並列接続詞、man
第3回	語順(1)
第4回	分離動詞(1)、完了形
第5回	否定
第6回	接続法I、間接話法
第7回	接続法II、非現実話法
第8回	否定
第9回	冠詞
第10回	語順(2)
第11回	従属接続詞
第12回	関係文
第13回	前置詞(1)
第14回	理解度の確認
第15回	予備日
第16回	前置詞(2)
第17回	分離動詞(2)
第18回	分詞、冠飾句
第19回	視点の取り方
第20回	3格、再帰動詞
第21回	無生物主語
第22回	話法の助動詞
第23回	心態詞
第24回	形容詞の名詞化、派生語
第25回	論理展開
第26回	前置詞と動詞、形容詞の組み合わせ
第27回	機能動詞
第28回	〃
第29回	理解度の確認
第30回	予備日

授業計画コメント

以上の授業予定はあくまでも学習項目の目安です。順番や学習時間数は適宜変更されます。

授業方法

授業中は文法事項の解説と、課題として指定した練習問題の解説・答え合わせを行います。辞書は必ず持って来て下さい。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

授業中、予習・復習になる練習問題を課題として指定するので必ずやってきてください。教科書とは別にプリントも使用します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

試験では授業中に扱った項目が出題されます。普段の授業への取り組みがそのまま試験に反映されると考えましょう。平常点は、授業中の問題演習への取り組みと、与えられた課題への取り組みが評価されます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験後に模範解答を配布します。疑問点があれば個別に答えます。

教科書

ドイツ語を書いてみよう！[改訂版],清野智昭,白水社,2016,978-4-560-06417-7

教科書コメント

教科書の他にプリントを使用します。

参考文献

独和大辞典コンパクト版,岩崎英二郎、小野寺和夫、国松孝二、三城満禧、千石喬ほか,小学館,第2版,1999,978-4-095-15032-7

[改訂版]詳解ドイツ語文法,在間進,大修館書店,2006,978-4-469-21307-2

参考文献コメント

授業中は一年次に使用した文法の教科書があるとよい。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821101107	科目ナンバリング	002D222
講義名	ドイツ語C(中級)7		
英文科目名	German (Intermediate Course; Communication)		
担当者名	大貫 敦子		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 木曜日 1時限 西1－208		

授業概要

ドイツ語で自分が言いたいことを伝えるコミュニケーション能力を身につけるために重要なのは、ドイツ語の基本的な文章構造に慣れることです。この授業では、初級文法で学んだ知識を復習しながら、さらにワンランク上の表現力を養成します。また同時に練習問題によって、聞く力と読む力のレベルアップもはかります。それぞれの課では、ドイツの現代社会のさまざまなテーマを扱いますので、そのテキストを通じて日常的な場面でのコミュニケーションに必要な語彙力の習得も目指します。

到達目標

(1)ドイツ語のさまざまな文章構造に慣れ、それを実際に運用することができる。(2)ドイツの現代社会について話すために必要な語彙を理解し、また使うことができる。(3)話されたテキストを理解し、それについての問いに答えることができる。

授業内容

実施回	内容
第1回	イントロダクション:授業の方針、予習の仕方、到達目標
第2回	接続法の形態と使い方(1)接続法I式
第3回	接続法の形態と使い方(2)接続法II式
第4回	語順の基本、形容詞の名詞的用法、2格の用法
第5回	テーマ:ドイツ人は家族の間でなんと呼び合うか
第6回	枠構造、前置詞つき目的語をとる動詞と形容詞
第7回	テーマ:マンションの掃除は当番制で！
第8回	外交的接続法、特別な意味を持つ前置詞、所有の3格
第9回	テーマ:ドイツ人は風呂が嫌い？
第10回	副文の短縮
第11回	テーマ:閉店法
第12回	不定関係代名詞、冠飾句
第13回	テーマ:シュワルツェネッガーとボディービル
第14回	まとめ
第15回	到達度チェック
第16回	さまざまな受動態、関係副詞
第17回	テーマ:ドイツ人が好きなスポーツ － サッカー
第18回	不定関係代名詞の名詞的用法
第19回	テーマ:オクトーバーフェスト
第20回	機能動詞構造
第21回	テーマ:大学の授業料の行方は？
第22回	さまざまな命令的表現(場面に応じた依頼の表現)
第23回	テーマ:ドイツ人の友達を作ろう
第24回	話法の助動詞の注意すべき用法
第25回	テーマ:ドイツでは離婚が多い？
第26回	esのさまざまな用法
第27回	テーマ:シュタイナー学校 － 理想の教育とは？
第28回	相関的接続詞
第29回	まとめ
第30回	到達度チェック

授業方法

毎回の授業に必要な予習を課題として指示します。課題のチェックをグループワークで行います。テキストについては、予め作っていただいた訳を發表してもらい、それについて全員で検討します。なお、ヒアリング素材については、教科書附属の素材を聞き、問いについて予め解答しておいたものを全員で検討します。また各課の終了ごとに、小テストを行います。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

課題の予習、テキストの翻訳、ヒアリング素材を聞き解答を作成しておくこと(90分程度)

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト	20 %	
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	予習状態、クラス参加の積極性
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

学期末試験だけでなく、予習を必ずしているかどうか、また小テストで日頃から復習をしているかどうかをチェックし、評価の対象とします。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

毎回の課題については、授業内でコメントをします。小テストおよび学期末試験については、評点とコメントを付して返却します。

教科書

グレートアップドイツ語,橋本政義、Bernhard Neuberger、橋本淑恵,郁文堂,6,2017,9784261012484

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

その他

授業を欠席する場合には、担当教員にメール連絡をすること。また欠席した回の授業の課題は後日必ず提出すること。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821102101	科目ナンバリング	002D322
講義名	ドイツ語C(上級)		
英文科目名	German (Advanced Course; Communication)		
担当者名	KERN, Daniel		
単位	2	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 火曜日 2時限 西1－303		

授業概要

中級コミュニケーションまでに学んだことを基礎として、さらに総合的なドイツ語運用能力を身につけることを目的とします。聞き取り、発話、語彙を増やすことなど、総合的な練習をします。最初の授業で、参加者の力と興味に応じて、テキストを決定します。Schritte international の4, 6のいずれかにします。教科書が決定して届くまで、最初のうちはコピーを配布します。

到達目標

明瞭な通常のドイツ語であれば、仕事や趣味や生活など日常的な事柄についてのドイツ語の発言や文章が理解できるようにします。例えば、旅行中に出会うさまざまな出来事に対して、必要な対応ができ、また、自分の経験や夢・希望・目標などについて話すことができることを目指します。さらに、自分に身近なテーマあれば、意見を述べたり、その論拠を説明したりできるようにします。

授業内容

実施回	内容
第1回	オリエンテーション。参加者と簡単な会話をしながら、教科書を決めます。コピーを配布し、授業を行います。
第2回	教科書 第1項目
第3回	教科書 第1項目
第4回	教科書 第2項目
第5回	教科書 第2項目
第6回	教科書 第3項目
第7回	教科書 第3項目
第8回	教科書 第4項目
第9回	教科書 第4項目
第10回	教科書 第5項目
第11回	教科書 第5項目
第12回	教科書 第6項目
第13回	教科書 第6項目
第14回	理解度の確認
第15回	自主研究
第16回	教科書 第7項目
第17回	教科書 第7項目
第18回	教科書 第8項目
第19回	教科書 第8項目
第20回	教科書 第9項目
第21回	教科書 第9項目
第22回	教科書 第10項目
第23回	教科書 第10項目
第24回	教科書 第11項目
第25回	教科書 第11項目
第26回	教科書 第13項目
第27回	教科書 第13項目
第28回	教科書 第13項目
第29回	理解度の確認
第30回	自主研究

授業方法

教科書に沿って進めていきます。生のドイツ語を聞きながら、会話の練習をたくさんします。積極的にドイツ語で話しましょう。ペアー練習、グループ練習も行います。

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

その週に習ったことを毎日かならずくり返して復習してください。宿題は適宜出します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

第1学期(学期末試験):30% 第2学期(学年末試験):30% 出席、参加態度:40% 授業への参加態度も重視します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験に関するフィードバックは実施後行います。

教科書コメント

Schritte international Neu 3 もしくはそれより上級のテキスト

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U821200101	科目ナンバリング	002D524
講義名	ドイツ語セミナー		
英文科目名	German (Seminar)		
担当者名	KERN, Daniel		
単位	4	配当年次	学部 1年～4年
時間割	通年 水曜日 2時限 西1－210		

授業概要

このセミナーでは、学生が司会をしてさまざまなテーマについて討論したり、議論を文章にまとめたりすることが中心になります。12のテーマを取り上げます。例えば「メルヒェンは残酷か?」、「お金は人を幸せにするか?」、「一神教それとも多神教?」「100年後の日本」などです。
 時事的なテキストを使って聞き取りの練習も行います。
 成績は出席と授業態度の積極性、および学期末の筆記試験によって評価します。
 テキストはこちらで用意します。

到達目標

ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)B1程度の会話力の習得を目標とします。

授業内容

実施回	内容
第1回	Unterricht Einführung 授業導入
第2回	Kann man im Schlaf eine Sprache lernen? 語学は睡眠学習できる?
第3回	weiter
第4回	Ins Berufsleben nach der Oberschule? 高校卒業後の職業の道へ
第5回	weiter
第6回	Hörverstehen 聞き取り
第7回	Sind Märchen grausam? メルヒェンは残酷?
第8回	weiter
第9回	Monotheismus oder Polytheismus? 一神教 または 多神教?
第10回	weiter
第11回	Hörverstehen 聞き取り
第12回	Macht Geld glücklich? お金で幸せになれる?
第13回	weiter
第14回	Wiederholung 復習
第15回	Schriftliche Prüfung 筆記試験
第16回	Meine Traumwohnung 夢の住まい
第17回	weiter
第18回	Meine Traumreise 夢の旅
第19回	weiter
第20回	Hörverstehen 聞き取り
第21回	Japan in 100 Jahren 100年後の日本
第22回	weiter
第23回	Was würdest du tun, wenn du den Jackpot knacken würdest? 宝くじで大当たりしたら何をする?
第24回	weiter
第25回	Mein Buch für die Insel 島に持って行く本
第26回	Hörverstehen 聞き取り
第27回	Was würdest du machen, wenn du der letzte Mensch auf der Erde wärest? 地上で最後の人になったら、何をする?
第28回	Soll man ein Auslandsstudium machen? 留学はすべき?
第29回	Hörverstehen 聞き取り
第30回	Schriftliche Prüfung 筆記試験

授業方法

テキストを配布します。そのテーマについてディスカッションを行います。

使用言語

日本語・英語以外

準備学習(予習・復習)

ディスカッションができるように準備してきてください。具体的な予習、復習については授業時に指示します。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	30 %	
学年末試験(第2学期)	30 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

試験に関するフィードバックは実施後行います。

履修上の注意

履修者制限あり。 第1回目の授業に必ず出席のこと。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>